

パイプロップ 小庭セット カモプロップ 小庭セット

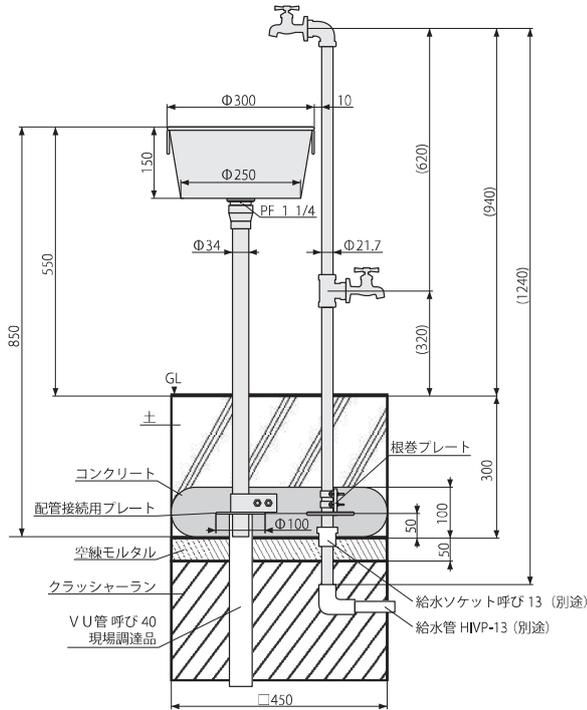
施工要領

施工断面図

寸法図

【パイプロップ 小庭セット】

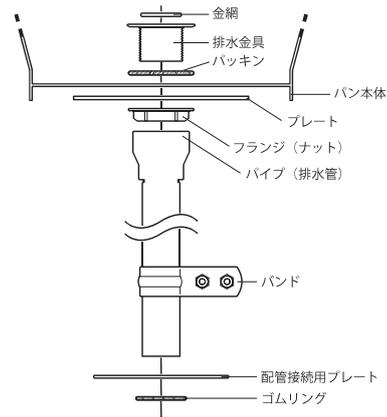
■ 寸法図・施工断面図



■ 施工方法

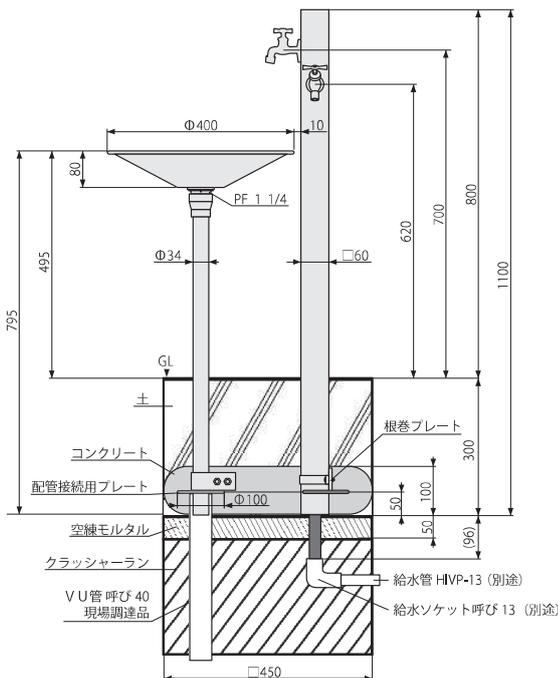
バケツパンに付属のフランジ（ナット）が締まっていることを確認します。
 パンの下に出た排水金具のネジにシールトープを数周右向きに巻き、支柱となるパイプをねじ込み固定します。

- ⚠ 排水金具がゆるまないように注意してください。
ゆるんだときは締めなおしてください。
- ⚠ バケツスタンドパンの特性上、底部に水がたまりますが異常ではありません。バケツは経年により錆が発生します。



【カモプロップ 小庭セット】

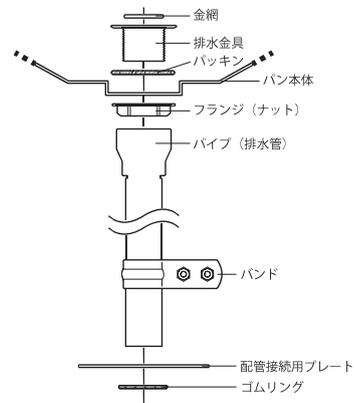
■ 寸法図・施工断面図



■ 施工方法

ステンパンに付属のフランジ（ナット）が締まっていることを確認します。
 パンの下に出た排水金具のネジにシールトープを数周右向きに巻き、支柱となるパイプをねじ込み固定します。

- ⚠ 排水金具がゆるまないように注意してください。
ゆるんだときは締めなおしてください。



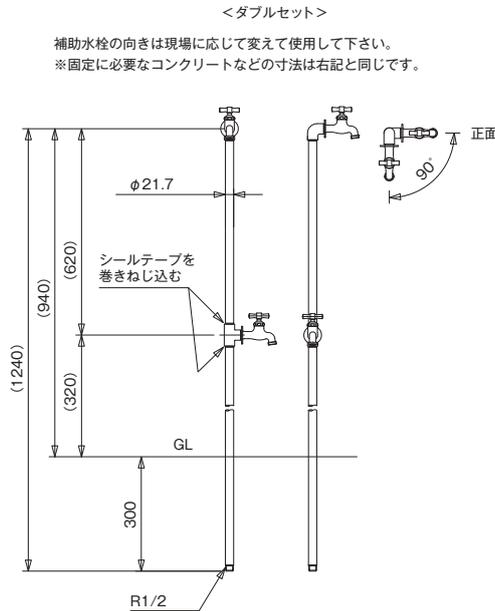
パイプロップ/カモプロップ

施工断面図

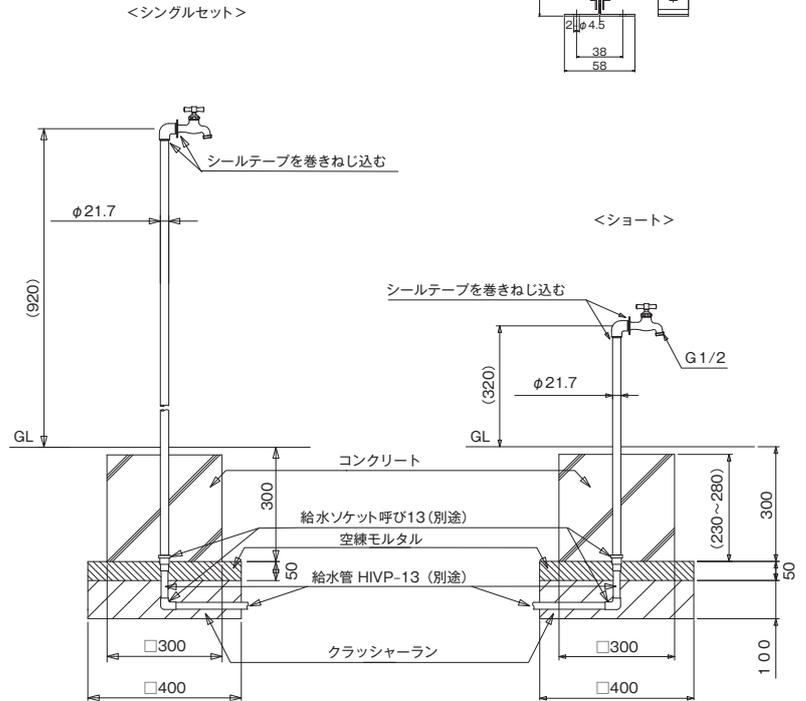
寸法図

【パイプロップ】

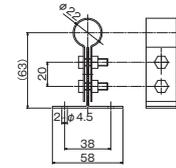
■ 寸法図



■ 施工断面図

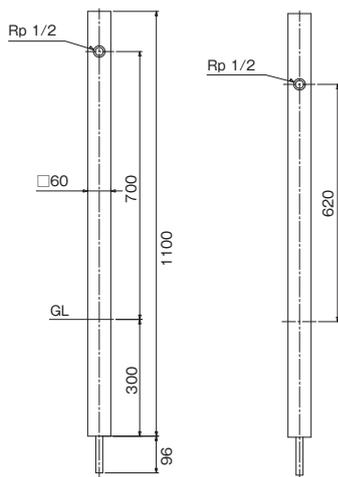


■ 支持金具 寸法図

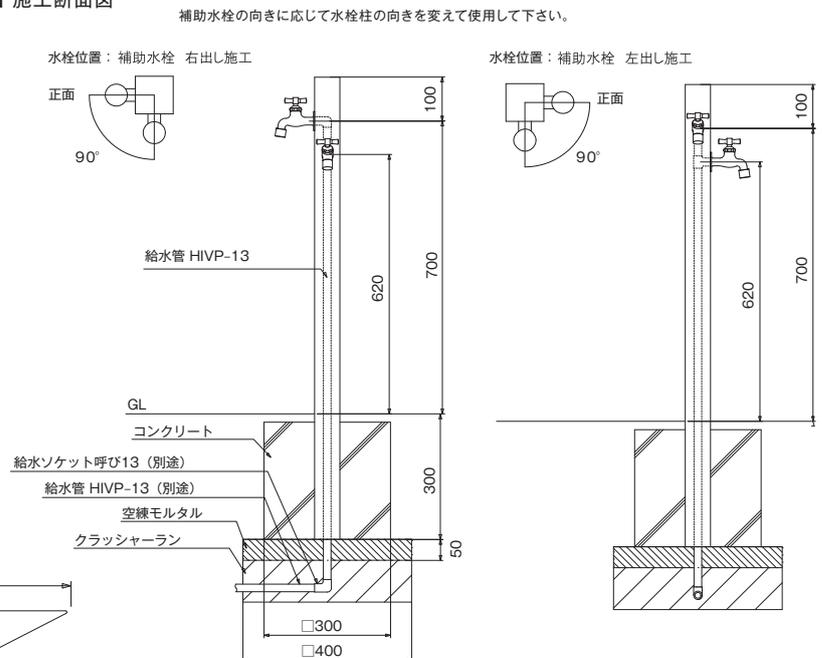


【カモプロップ】

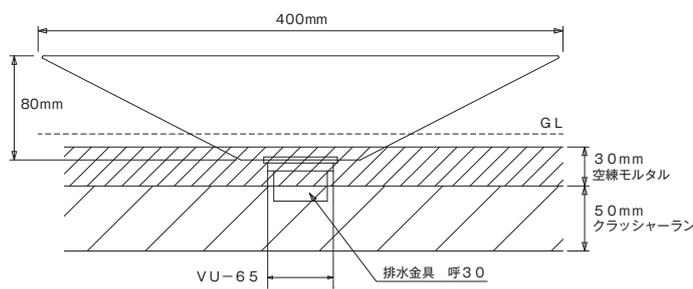
■ 寸法図



■ 施工断面図



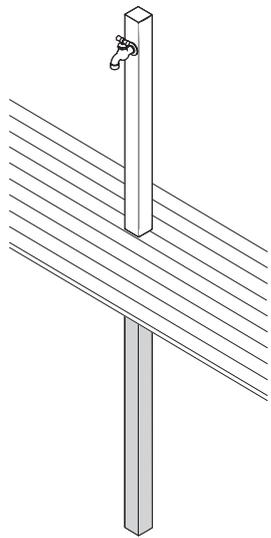
■ パン 施工断面図



カモプロップ

施工断面図

【カモプロップ ロングセット】

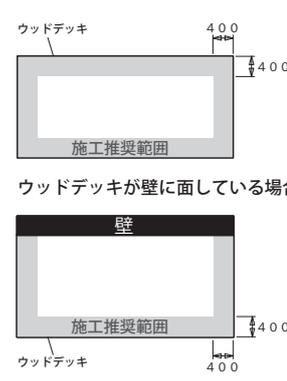


■施工する際にはこの施工寸法図を参考にして下さい。

■本製品を施工する位置については、下図の灰色で示したように

ウッドデッキの端から400mm以内
を目的に、無理なく施工できる範囲で決定して下さい。

※ウッドデッキへの固定をより確実に行う場合は、別途「M5797ウッドデッキ金具」をお買い求め下さい。



ウッドデッキ 400

400

施工推奨範囲

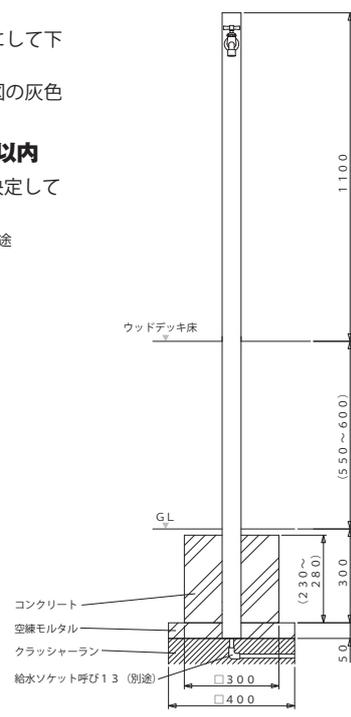
ウッドデッキが壁に面している場合

壁

400

400

ウッドデッキ



ウッドデッキ床

GL

コンクリート

空練モルタル

クラッシュラン

給水ソケット呼び13 (別途)

300

280

300

50

400

1100

(550~600)

凍結防止ソケット

施工要領 寸法図

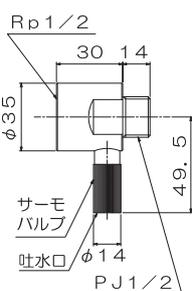
⚠ 使用条件とご注意

本製品にはサーモバルブを採用しております。その使用条件及び、注意点を以下に示します。

- ・取り付けの時は必ず元栓を開けて作業してください。
- ・排水には十分注意してください。(サーモバルブが働いて流れだした水が地面で凍結し、すべて怪我をする恐れがあります。)
- ・ご使用の水道が、イ、給水圧力0.04~0.75MPa。ロ、水道本管の水温(蛇口をあけて1~2分後の水温)が5.0℃以上であること。
- ・外気温度が、-1.5℃以上であること。
- ・家庭内に蛇口を取付ける場合、蛇口の周囲温度が0.5℃以下にならず、屋外の温度がマイナスになるような場所では使用できません。(サーモバルブが働かないうちに屋外の配管が凍結する場合があります)
- ・本製品の下には、十分な空間を確保してください。サーモバルブの凍結により、凍結防止機構が機能しなくなります。
- ・凍結防止のため開いた弁は、感知部の水温が5.0℃以上に上がらない時は水が止まらないことがあります。

給水圧力	最低必要圧力	0.04MPa
	最高圧力	0.75MPa
	適正圧力	0.2~0.3MPa
使用温度範囲		-1.5~60℃
開弁温度		2.5±2℃
閉弁温度		5.0℃以下
取付姿勢		排水が垂直下向き

■ 外観寸法図

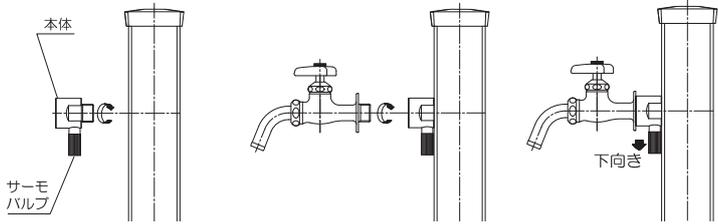


■ 施工手順

- 1 本製品をシールテープを用いて、水栓柱に取付ます。
- 2 水栓をシールテープを用いて、本製品に取付ます。
- 3 元栓を開き、水漏れがないことを確認してください。

⚠ 必ずサーモバルブの吐水口が垂直下向きになるように取付してください。サーモバルブに無理な力を加えると、破損の恐れがあります。本体の両側を工具で挟んで取付してください。

★ サーモバルブがずれないように、製品本体を工具などで挟み込んで固定しながら取付してください。

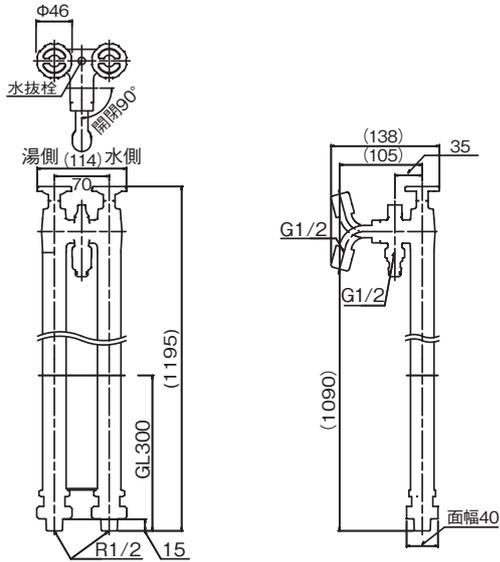


ガーデン

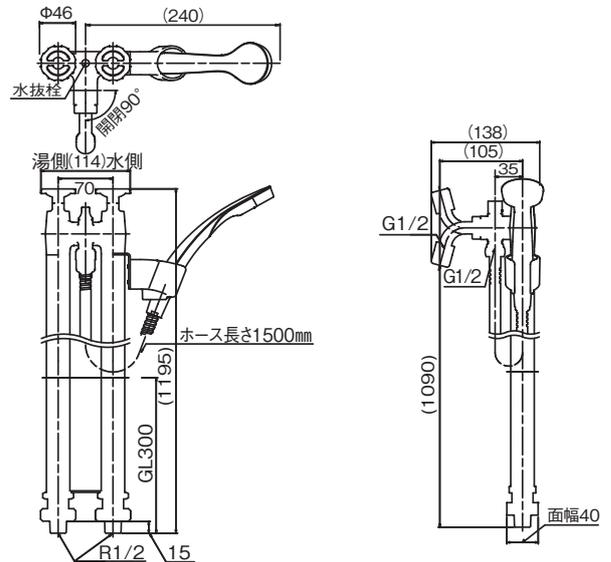
ツインクルピラー

■ 寸法図

G21KS-S / G21KS-B / G21KS-W

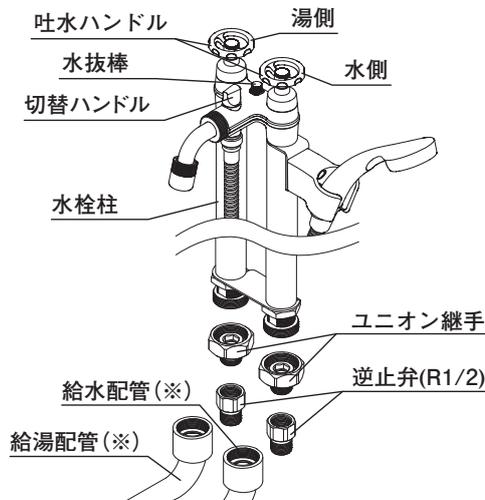


G21KSS-S / G21KSS-B / G21KSS-W



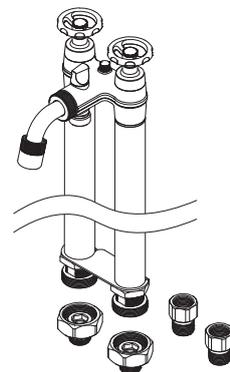
水栓柱について 各部の名称

ツインクルピラー(シャワー付き)



※下記を参考に、
必要な部材を別途手配して下さい。
●シールテープ
●給水配管:HI-VP仕様(呼び径13mm)

ツインクルピラー



施工について 適切な使用条件

[水圧について]

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧して下さい。

[温度について]

最高使用温度	60度
--------	-----

[水質・用途について]

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

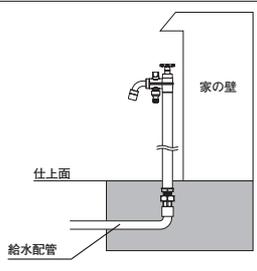
施工について 施工手順

①設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- 基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置して下さい。
- ※正しく固定しないと水漏れ等の原因になります。
- 給水は、上水道に接続して下さい。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。



②水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、先に給水配管に逆止弁、ユニオン継手の順に接続します。次にユニオン継手に水栓柱を接続します。

注意

- 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 給水・給湯配管は右側が給水、左側が給湯です。

注意

- (付属の逆止弁について)
- 水側と湯側のメンテナンス可能な配管内に必ず取付けてください。
 - 正しい通水方向で取付けて下さい。

- 給水・給湯配管取付足に直接取付けしないで下さい。抜けなくなるおそれがあります。



③通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

注:このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング:蛇口を全開にして、約30~60秒間勢よく通水を行って下さい。

施工後数日~数ヶ月で、「水がでない、止まらない、ポタ漏れする」等のお問い合わせが頻発しております。

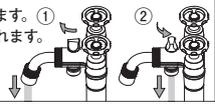
その一番の原因は、「フラッシング不足により蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為」です。

フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

ご使用について 操作方法

切替ハンドルをまわして、通水方向を切り替えることができます。

切替ハンドルを時計回りにまわすと図①のように水が流れます。切替ハンドルを反時計回りにまわすと図②のように水が流れます。※可動範囲は90度です。それ以上、まわそうとすると破損の原因になります。



吐水ハンドルをまわして、湯水の調整ができます。

向かって左側の吐水ハンドルをまわすと湯が流れます。向かって右側の吐水ハンドルをまわすと水が流れます。温度および吐水量を調整して下さい。

湯側 水側



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水抜き棒を開け、水栓より水を出して下さい。※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じて下さい。※水道が凍結する地域でご使用する場合は、水抜き栓を設置して下さい。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。

注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど

- 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取って下さい。本体の割れや変色変質の原因となります。

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。

放置すると故障の原因になりますので、修理をご依頼下さい。

吐水口の点検については下記を参照下さい。

日頃から、ときどき吐水口と切替ハンドルを回して下さい。(月1回を目安)

長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

回らなくなった場合は、修理をご依頼下さい。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。(年2回を目安)

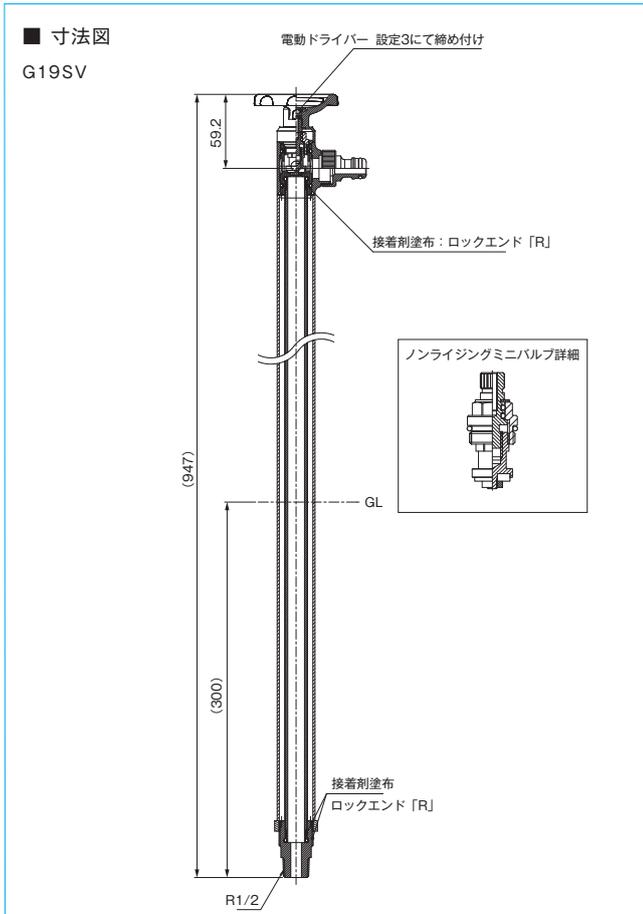
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



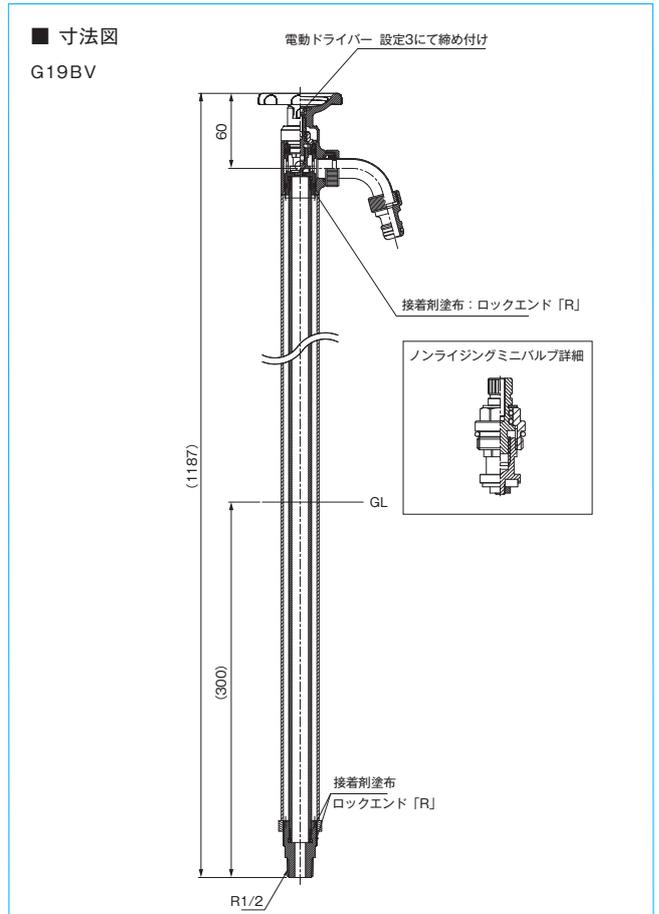
ガーデン

ウォーターコック

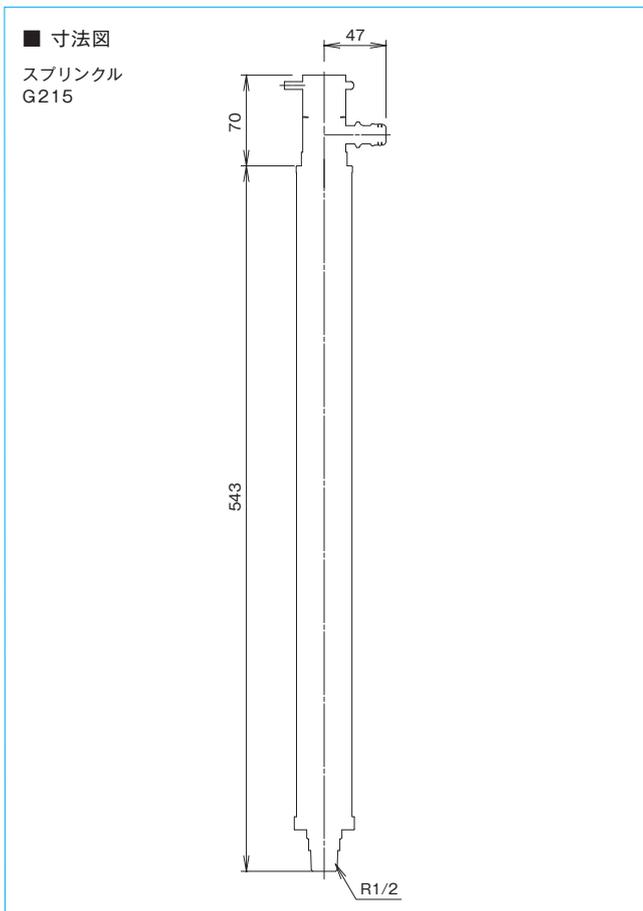
【スプリンケルスリムバルブハンドル】



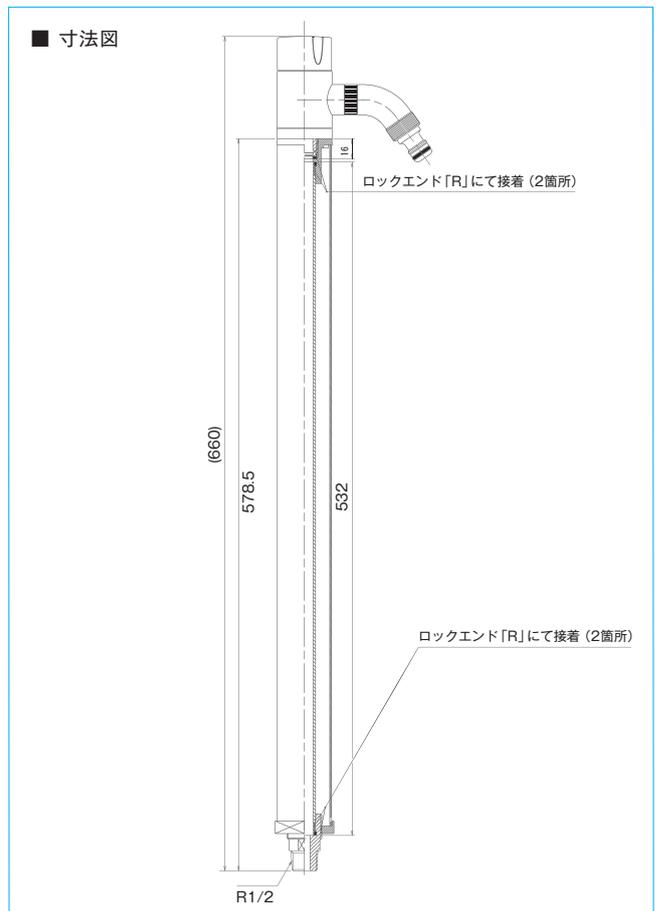
【スプリンケルスリム3Dバルブハンドル】



【スプリンケル】



【3Dスプリンケル】

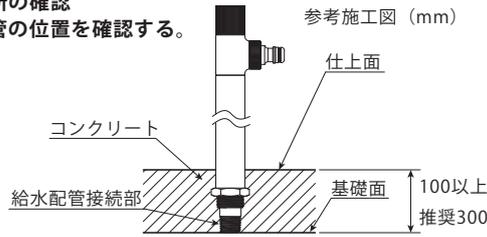


【スプリンクルシリーズ施工要領】

■ 施工手順

1 設置場所の確認

水栓柱の位置を確認する。

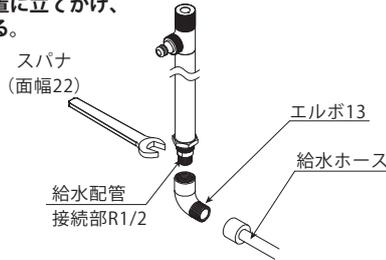


注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- PC板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり(凍結深度)がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



注意

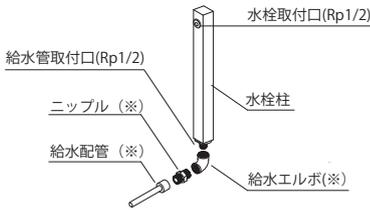
- 接続の際は、給水配管接続部が回らないよう、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。
- 取付け前、取付け後には必ず通水し、配管のゴミを洗い流して下さい。(フラッシング) ※フラッシング不足に起因する水漏れや破損は、購入からの期間に関わらず有料修理となります。施工後数日~数ヶ月で、『水が出ない』『止まらない』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により、『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まるため』です。

3 通水確認

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。このとき、確実にフラッシングを行って下さい。
フラッシング：蛇口を全開し、約30~60秒間勢よく通水を行って下さい。

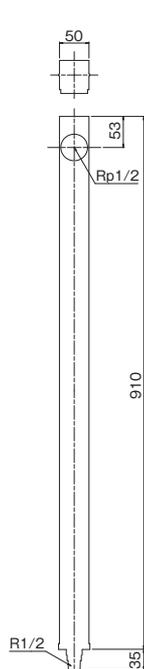
【木目水栓柱】

■ 各部名称



- ※下記を参考に、必要な部材を別途手配してください。
- ニップル：13×13ニップル
 - シールテープ
 - 給水エルボ：13×13エルボ
 - 給水配管：HI-VP仕様 呼び13

■ 寸法図



■ 施工手順

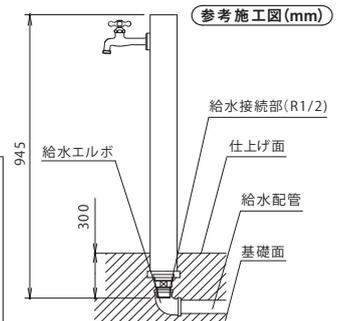
① 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。



注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
- 基礎がない場合は砂利石、PC板などの十分強固な上に設置してください。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。



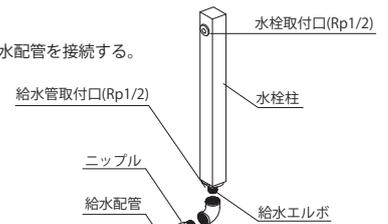
② 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



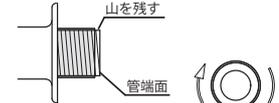
注意

- 取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。



③ 水栓の取付け

水栓のねじにシールテープを巻きつけます。テープは、管端面からはみ出さないよう、ねじ山を1~2山残した状態で、テープがたるまないよう巻きつけます。



管端からはみ出して巻きつけると、テープが切れて管内のゴミとなり、水漏れ原因となります。



④ 通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

- このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング：蛇口を全開し、約30~60秒間勢よく通水を行ってください。

施工後数日~数ヶ月で、『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いてください。

■ 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。

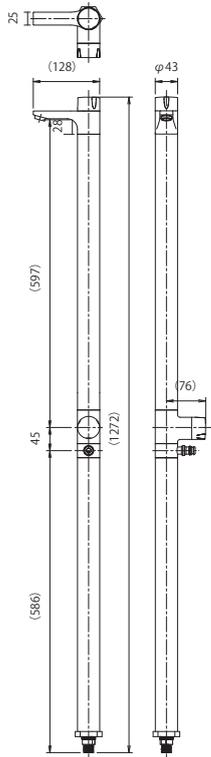
少量の水を出すなど



ウォーターコック

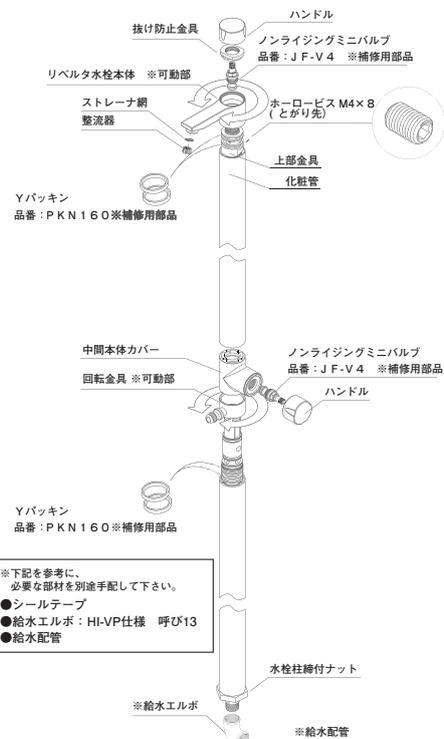
[リベルタII]

■ 寸法図



■ 構造

構造を表したイラストです。
本製品の構造をご理解いただくにご使用ください。

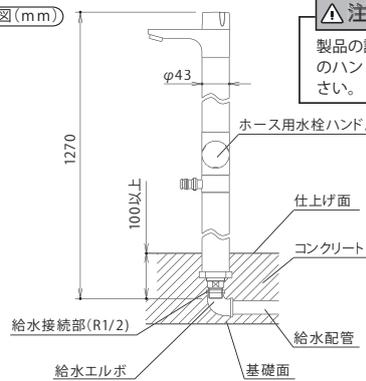


※下記を参考に、必要な部材を別途手配して下さい。
●シールテープ
●給水エルボ：HI-VP仕様 呼び13
●給水配管

■ 施工手順

① 設置場所の確認 給水配管の位置を確認する。

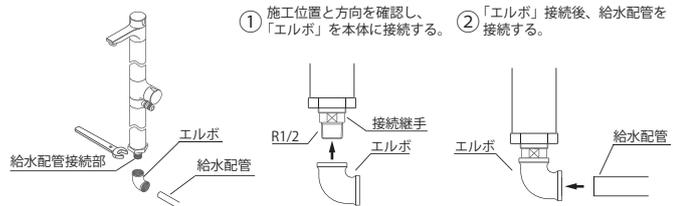
(参考施工図(mm))



注意
製品の設置方向は、ホース用水栓のハンドル位置を基準にしてください。

② エルボの接続・位置決め・配管の接続

- 工具を使ってしっかりと締め付け、接続してください。
- 先に「エルボ」を接続すると、後の施工が容易になります。
- 仮固定・位置決めは、「エルボ」を接続した後に行ってください。
- 配管種類に合わせて、継手等を手配してください。



③ 通水点検

蛇口施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを確認します。

●このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング：蛇口を全開にし、約30～60秒間勢いよく通水を行ってください。

施工後数日～数ヶ月で、『水が出ない、止まらない、ポタ漏れる等』のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

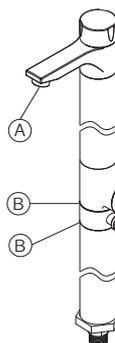
フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

水漏れをした場合

水漏れ箇所の確認

- A: 吐水口
B: 管の継ぎ目

原因は?



B) Yパッキンの傷み

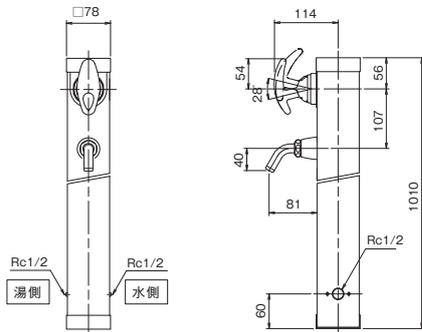


A) ノンライジングミニバルブの傷み

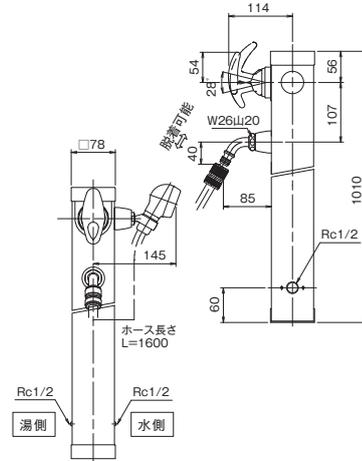


水漏れ等が見つかった場合、当社【お客様窓口】までお問い合わせ頂き、交換部品をお求め下さい。

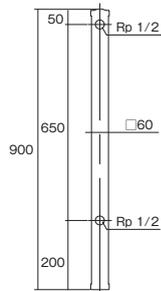
混合水栓柱
G101-KS



混合水栓柱 (シャワー仕様)
G101-KSS

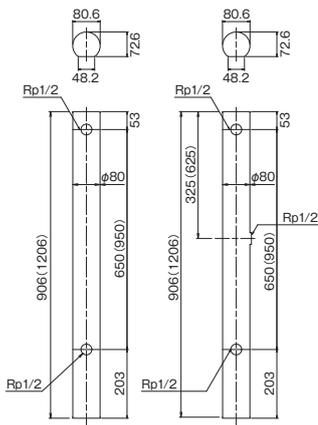


ステンレス水栓柱
G206-S60K

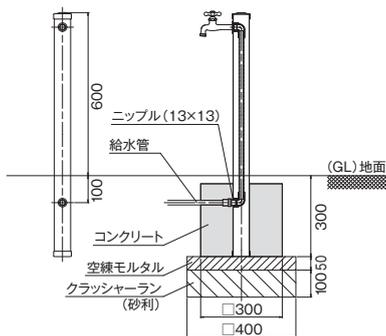


※給水口の接合はP78を参照ください。

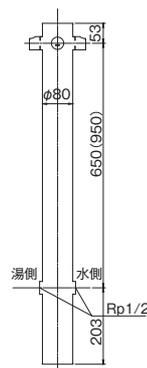
レゼーナ 900/1200



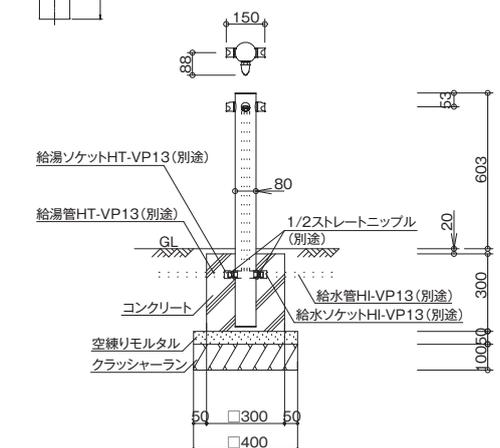
施工断面図



混合水栓柱レゼーナ (切替栓付き) 900/1200



施工断面図



水栓パン

施工要領

寸法図

【スクエアパン】

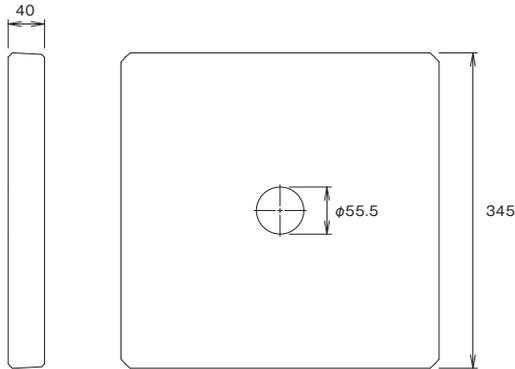
■ 施工前の確認

<設置場所の確認>

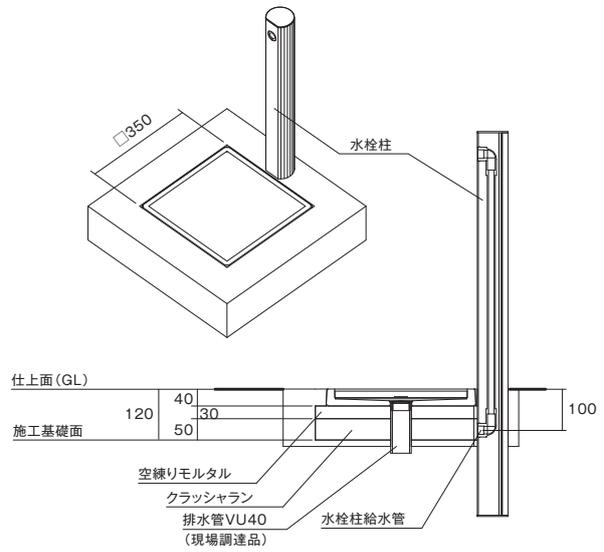
- ガーデンパンは、必ず安定した砂利、モルタル、コンクリの上等に設置して下さい。
- 水栓柱の給水配管に干渉しないよう、水栓パン、及び排水設備を施工して下さい。

<排水管のサイズ>

- 水栓パンの排水金具は塩ビパイプVU40対応品です。
排水管は塩ビパイプVU40を用意して下さい。
※ 排水管(塩ビパイプVU40)は現場手配となります。



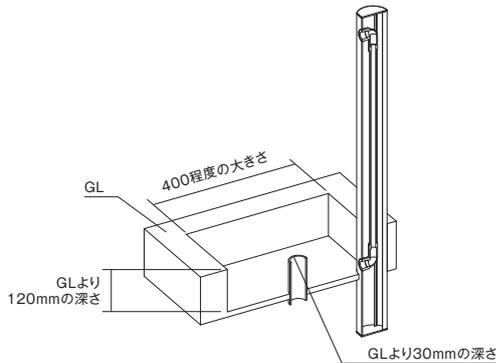
<施工完了例> (単位:mm)



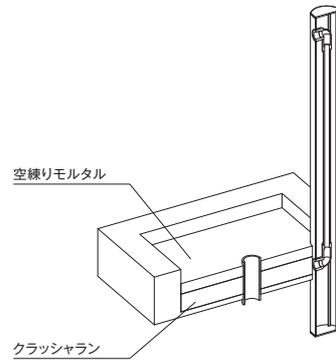
■ 施工手順

GLとツラ位置で、埋め込んで施工する場合の施工方法となります。
お好みで埋め込み深さを浅くする場合は、希望する埋め込み深さに合わせて寸法の調整を行って下さい。

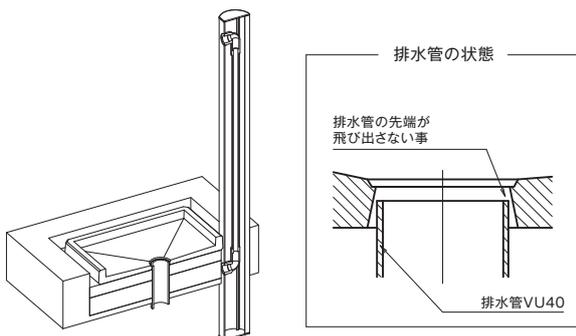
- 1 バンの大きさより周囲100mm大きく、120mmの深さで床掘し、充分に転圧します。このとき排水管(塩ビパイプVU40、現場調達品)をバンの穴位置にあわせ埋設しておきます。排水管の上端はGLより30mm低くして下さい。また、水栓柱の給水管と干渉しないよう、排水パイプの位置を検討して下さい。



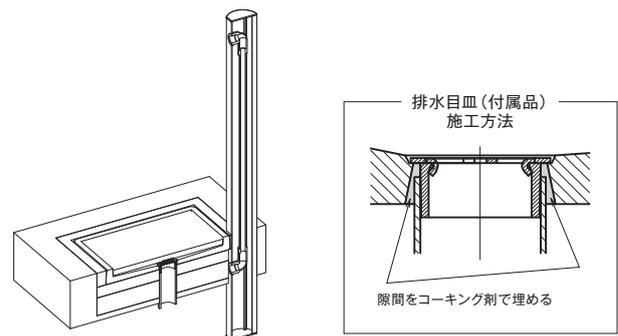
- 2 クラッシュランを50mm敷設し転圧した後、その上に空練りモルタルを30mm敷設します。



- 3 バンをセットし、バンの高さを調整します。この時、排水管が飛び出さないようにします。飛び出した場合、適切な高さへ切断、または空練りモルタルで高さを調整し、問題の無い事を確認してから、バンの周囲を埋め戻して下さい。



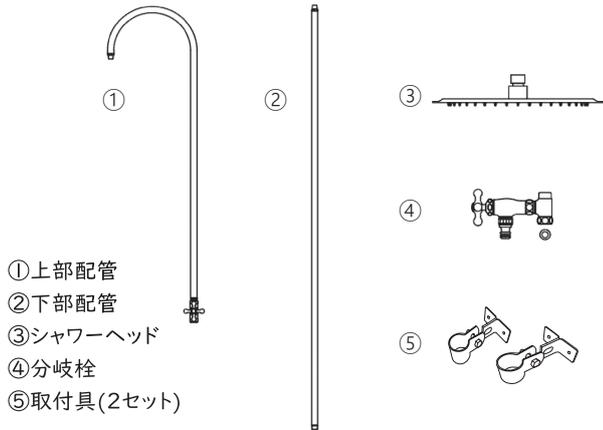
- 4 排水管とバンの隙間をシリコン系コーキング剤で充填し、排水金具を差込みます。水はね防止マットをセットし、完成です。



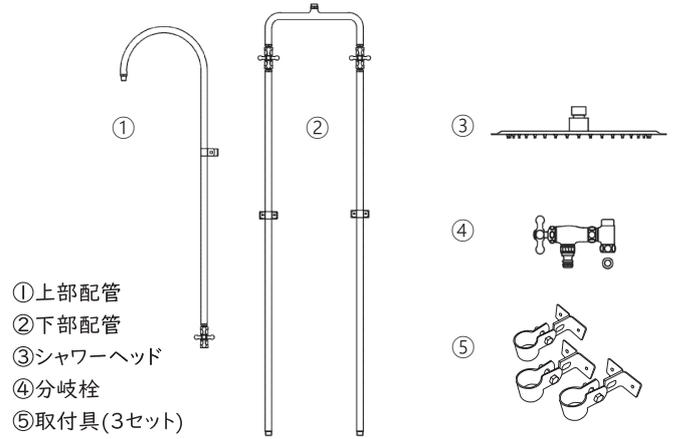
シャワー水栓柱

【サーフシャワー】

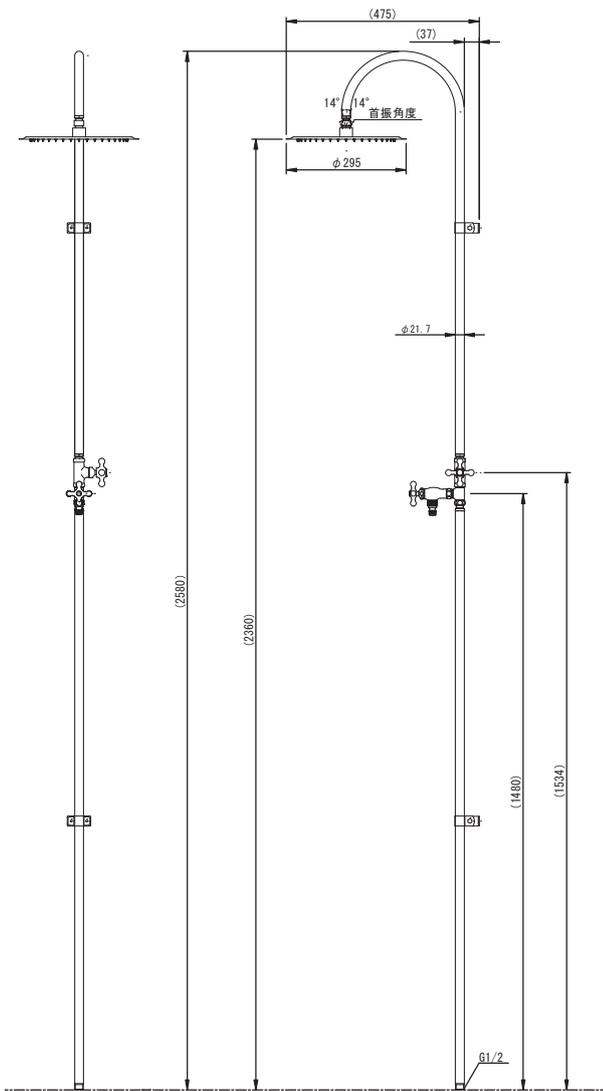
■ SSW-S (セット内容)



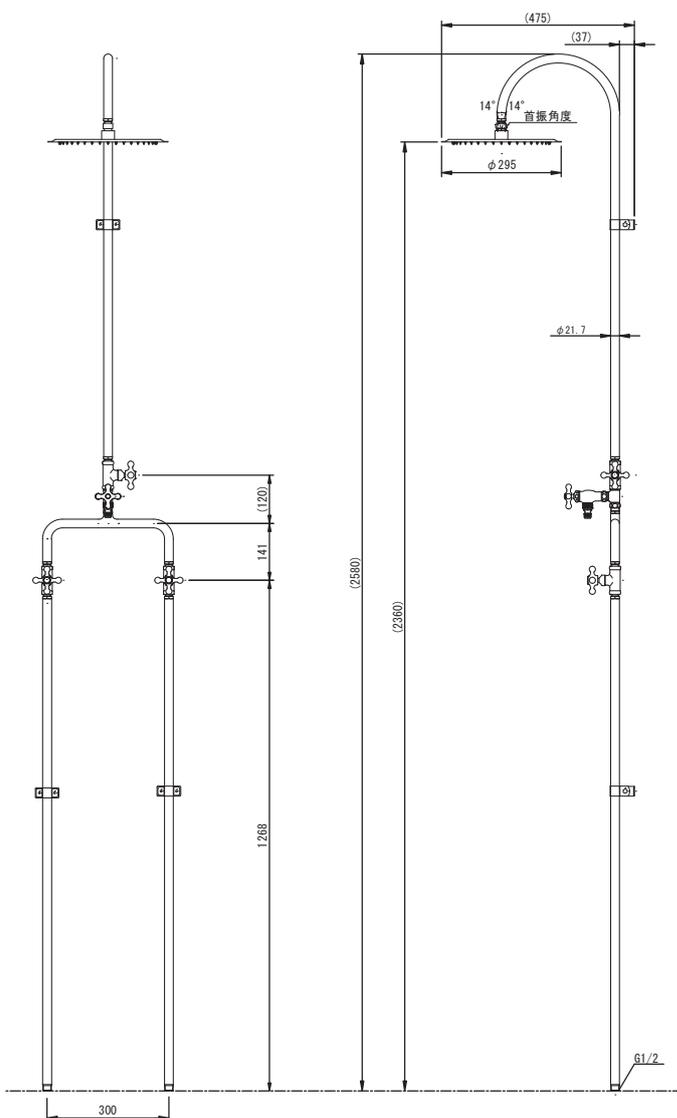
■ SSW-M (セット内容)



■ SSW-S



■ SSW-M



■ 参考施工図

1. 本製品は、壁面に固定して使用するよう設計されています。自立式ではありません。
 2. 取付具は壁面にあった固定法で固定してください。
 3. 本製品の給水接続部及び配管はステンレス製です。よって、埋設部分は防食テープなどで、十分養生してください。
 4. 通水確認後 管内の異物や汚れ除去のため、水を勢いよく出してください。
- ※この図を参考に現場状況にあった施工をお願いいたします。

シャワーヘッド
付属のパッキンが抜けないようにシャワーヘッドをねじ込む

取付具
アンカーボルト等で壁面に固定する

上部配管取付
分岐栓を下部配管に取り付けた後、分岐栓のネジ部にシールテープを巻き上部配管をねじ込む

分岐栓取付
付属パッキンを使用し、分岐栓を下部配管に取り付ける

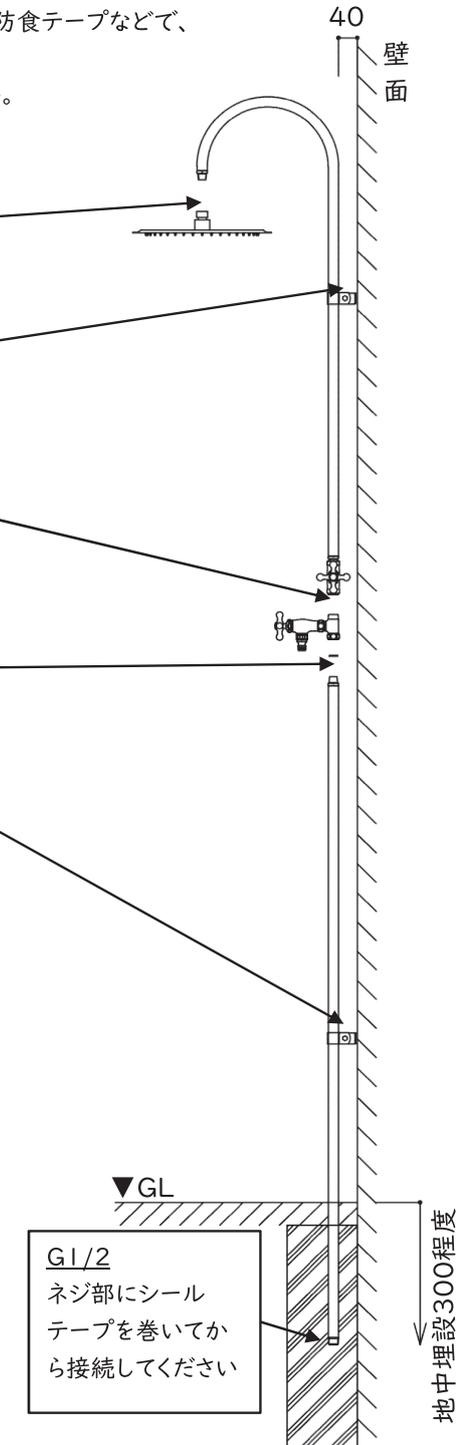
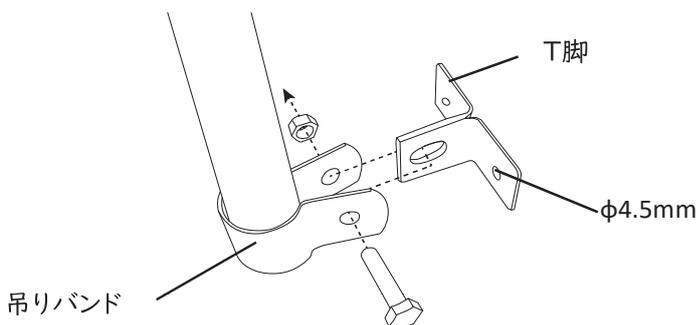
取付具
アンカーボルト等で壁面に固定する

地中埋設300程度
現場状況によりモルタルなどで補強ください

注意:モルタルなどで補強する場合は不陸にご注意ください
ジョイント部が外れる場合があります

注意:シャワー本体のコンクリート埋設などをする場合は必ず
通水して漏水がないかを確認後、埋設してください

5. 取付具にはφ4.5mmの穴が開いています。
吊りバンドをパイプに巻き付けT脚に組み合わせてねじ止めしてください。
T脚は、壁面に合った固定法でしっかりと固定してください。

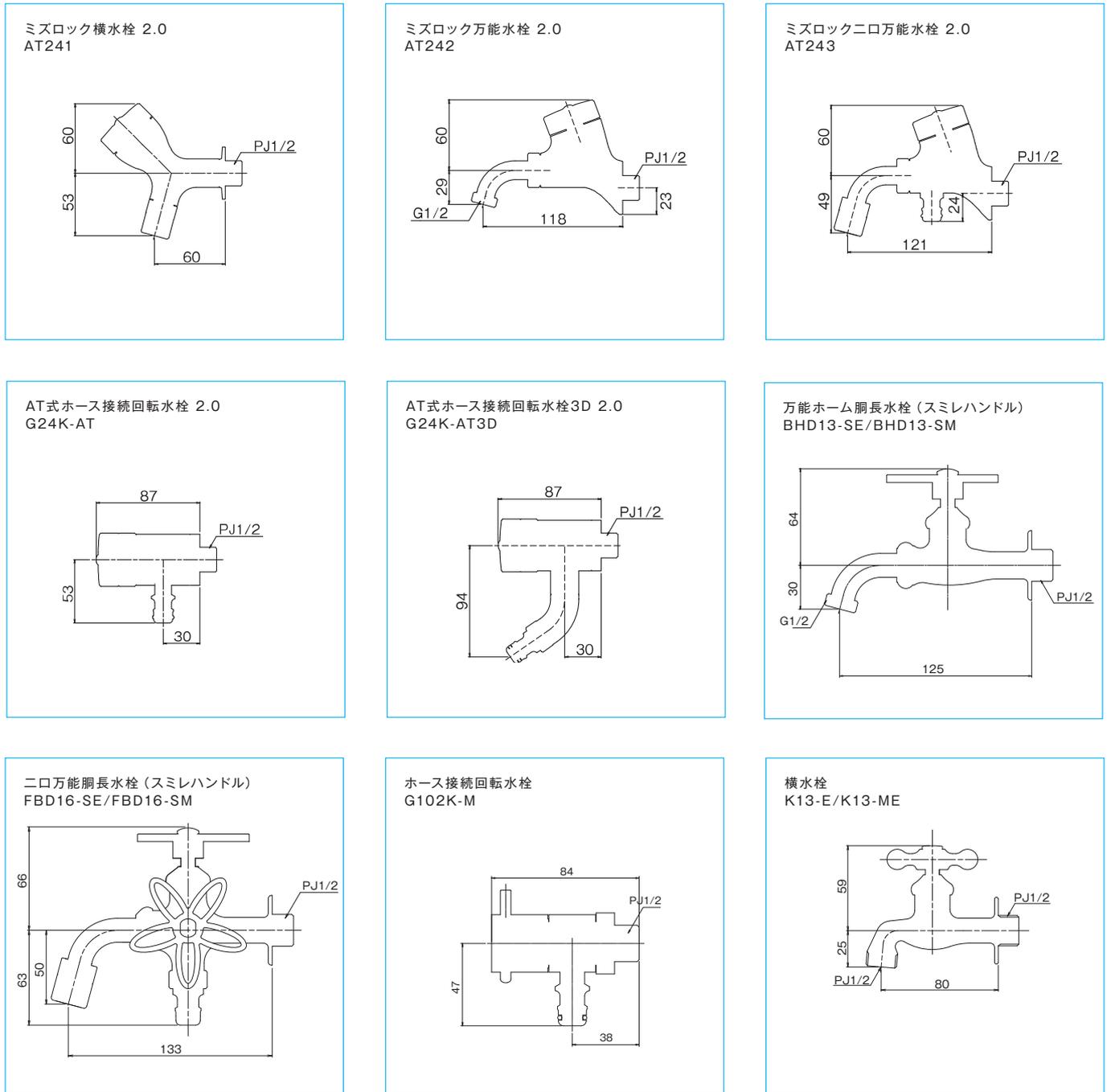


取付具について

カランN

※ゴールド色はご使用期間の経過により、表面の色が落ち着いた色調に変化していきます。

【カランNの寸法図】



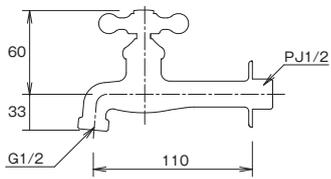
【水栓金具の取付け方】

水栓金具の交換をするときは、止水栓を止めて下さい。止水栓は、ほとんど水道メーターの付近にあります。右にまわすと閉まり、左にまわすと開きます。

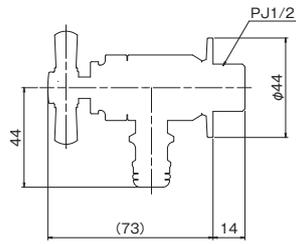
- 1 古い水栓金具を左にまわして外します。次に配管内のゴミを取り除きます。
※配管内のゴミが残っていると、パッキンを傷つけ、水もれの原因になります。
- 2 新しい水栓金具のネジ部分にシールテープを全体が2〜3重になるように巻きます。シールテープは軽く引っ張りながら、ネジに食い込むように巻きます。
- 3 新しい水栓金具を右にまわしてねじ込みます。最後までねじ込んで水栓が斜めになる場合は、いったん外してシールテープの量を増減して正しい位置になるよう調節します。
※一度ねじ込んだものを左にまわして戻すと、水もれの原因になります。
- 4 最後に止水栓を開き、水もれを点検します。
※水もれをする場合は②から戻って作業しなおして下さい。



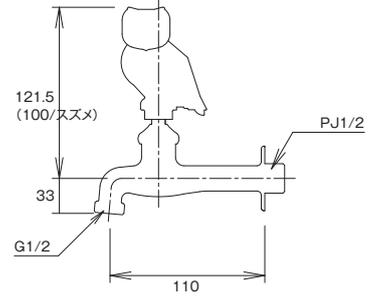
胴長横水栓
DN13-E/DN13-M/DN13-MS



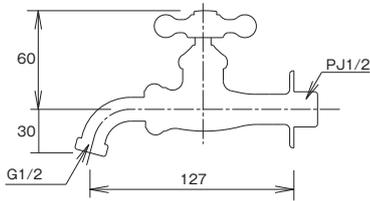
ホース接続水栓
G102-IB/G102-IM



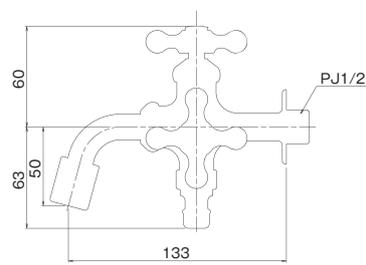
胴長横水栓 (フクロウ) 胴長横水栓 (スズメ)
DN13-OW DN13-SP



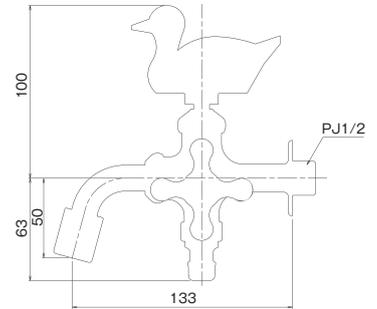
万能ホーム胴長水栓
BHD13-E/BHD13-M



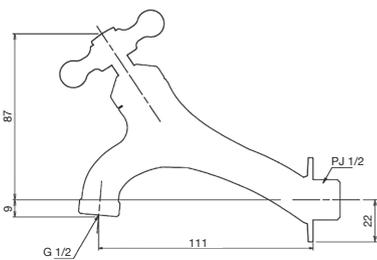
二口万能胴長水栓
FBD16-E/FBD16-M/FBD16-MS



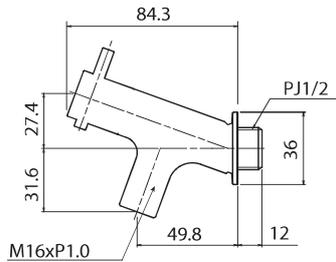
二口万能胴長水栓 (カモ) 二口万能胴長水栓 (スズメ)
FBD16-WD FBD16-SP



T14型胴長横水栓
T14D-E/T14D-M

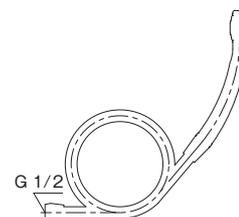


ラモニ (メッキ)
G24RMY-M



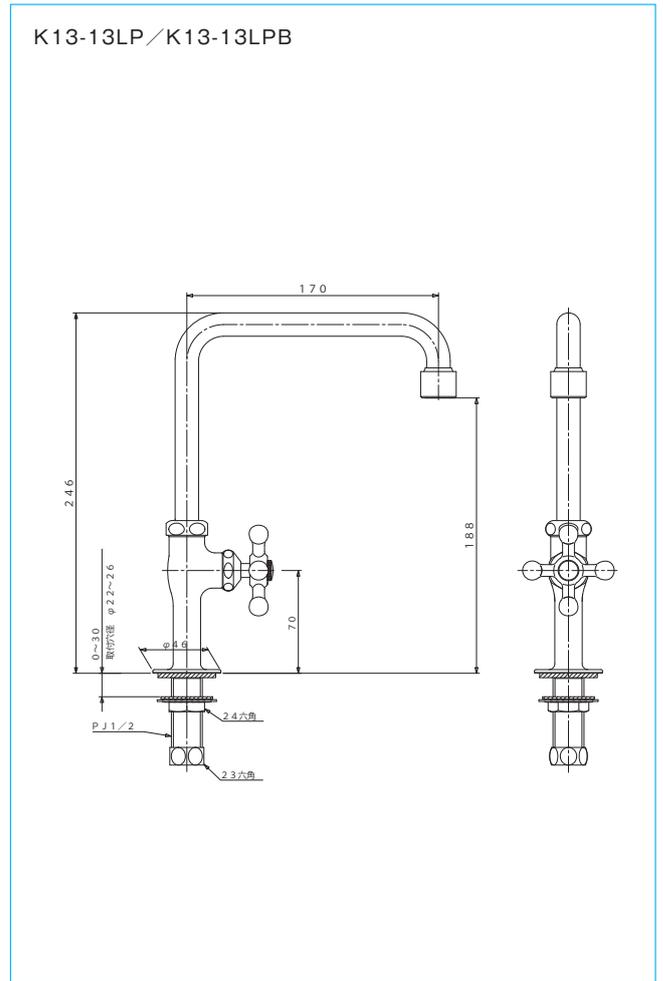
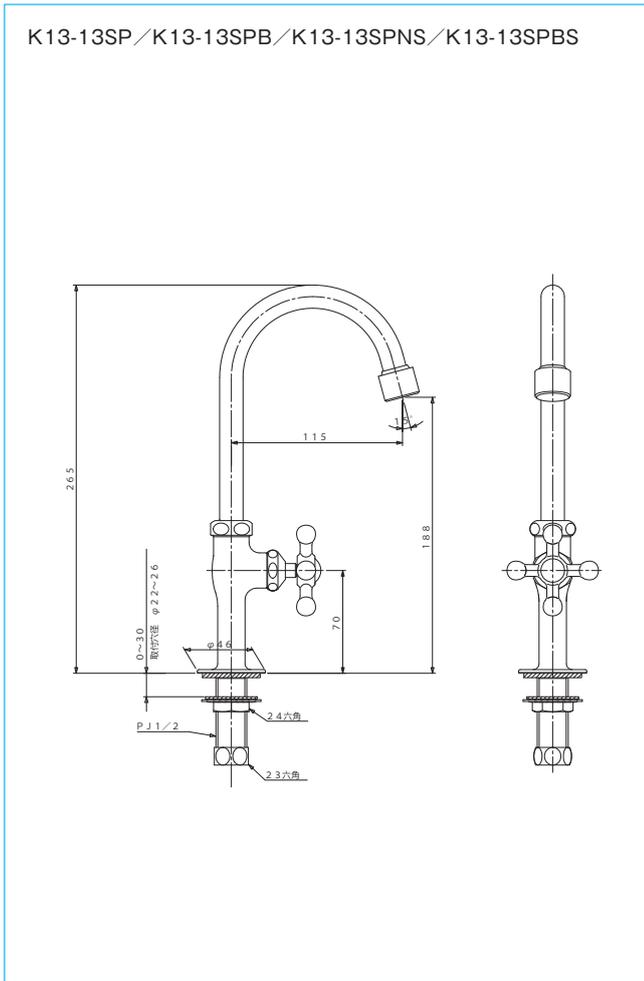
【シャワーホースの寸法図】

G216SHS-M

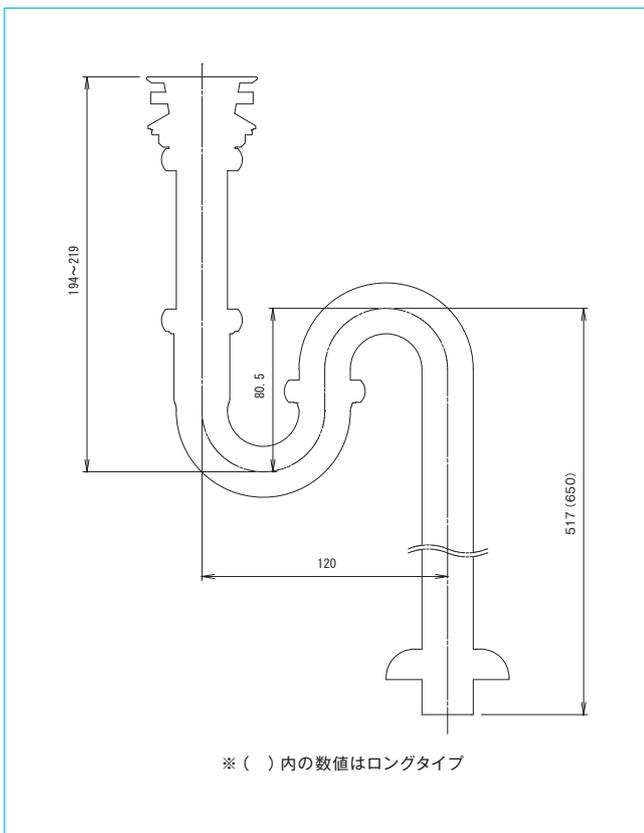


立水栓

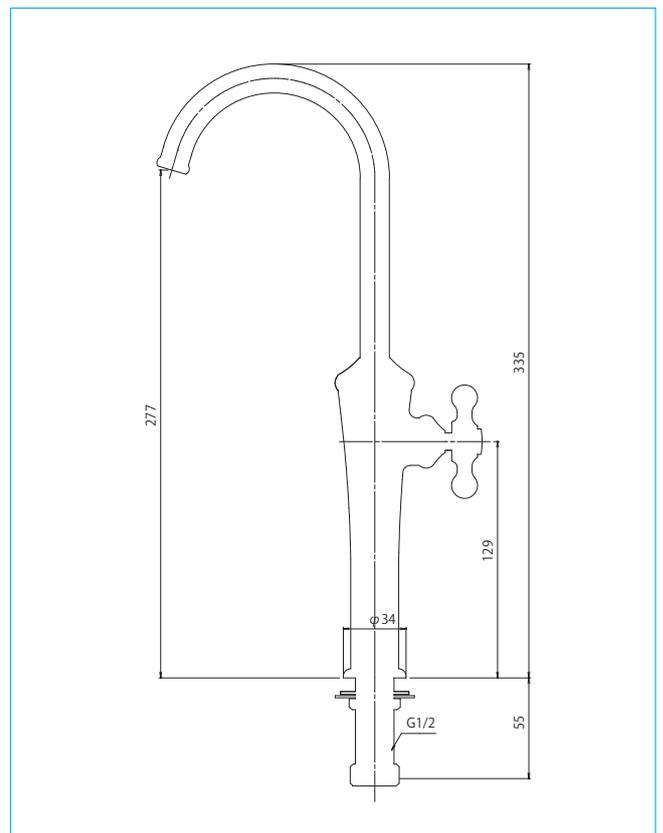
【スワンの寸法図】



【ストラップ・ストラップ(ロングタイプ)の寸法図】



【レトロンの寸法図】



ガーデン

【スワンの施工要領】

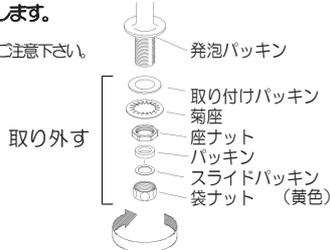
・正しい設置および正しい使用がされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いかねますので予めご了承下さい。

器具の取り付け

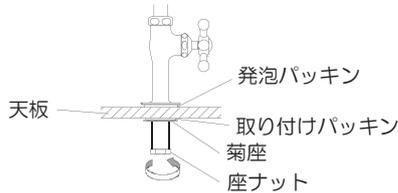
取り付けが順にしたがって確実に取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部防らの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

1 水栓に取り付けてある袋ナット、座ナットのネジを回し、菊座、取り付けパッキンを取り外します。

※取り外す際には部品をなくさないようにご注意ください。



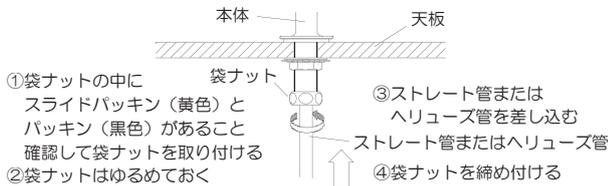
2 本体をハンドルが右側になるように天板の穴に差し込み、下から取り付けパッキン、菊座をいれ座ナットで締め付けます。



3 本体と止水栓を接続します。(ストレート管、ヘリユース管の場合)

※付属の袋ナットにスライドパッキン(黄色)とパッキン(黒色)が入っていることを確認して袋ナットを取り付けて下さい。

※袋ナットをゆるめ、ストレート管またはヘリユース管を差し込み、袋ナットを締め付けて下さい。

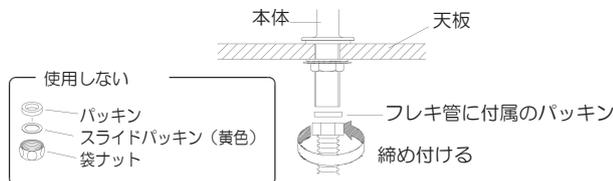


- ①袋ナットの中にスライドパッキン(黄色)とパッキン(黒色)があることを確認して袋ナットを取り付ける
- ②袋ナットはゆるめておく
- ③ストレート管またはヘリユース管を差し込む
- ④袋ナットを締め付ける

3 本体と止水栓を接続します。(フレキ管の場合)

※フレキ管で接続する場合、付属の袋ナット、パッキン、スライドパッキンは使用しません。フレキ管のナットで直接本体に接続して下さい。

※本体とフレキ管の間には必ずフレキ管に付属されているパッキンを使用して下さい。



- 使用しない
- パッキン
- スライドパッキン(黄色)
- 袋ナット

取り付け後の点検

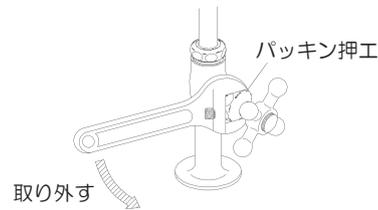
※水栓の出し止めを数回繰り返して、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認して下さい。

※天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に浸入がないか確認して下さい。

コマの掃除

止水できなくなった場合には、コマにゴミがついていることがありますので、下記の手順によりコマの掃除を行って下さい。

1 止水栓のハンドルを閉じて給水を止めます。パッキン押エのネジを回して上部を取り外します。



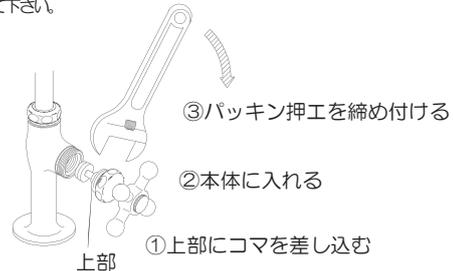
2 コマを取り出し、ゴミを取り除きます。

※コマが取れない場合は、ラジオペンチ等ではさんで取り出して下さい。



3 上部にコマを差し込み、本体に取り付け締め付けます。

※全ての部品を取り付け、水栓の出し止めを数回繰り返して、接続部から水漏れがないことを確認して下さい。



吐水口の掃除

吐水口が詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整が出来なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき吐水口部を掃除して下さい。

※吐水口部を外して、網目や穴に詰まったゴミをブラシなどで取り除いて下さい。



お手入れの方法

いつまでも美しさを保つため、柔らかい布で磨き、メッキされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしみ込ませた布で磨いて下さい。

※クレンザー、みかき粉、粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはメッキ面を傷つけるので使用しないで下さい。

※また、酸性洗剤はメッキを侵しますので使用しないで下さい。間違えて使用したときはすぐに水洗いして下さい。

※K13-13SPB・K13-13LPB (ブロンズメッキ)、K13-13SPBS (ブラックサテンメッキ) は特殊メッキのため、経年により色が変化する場合があります。

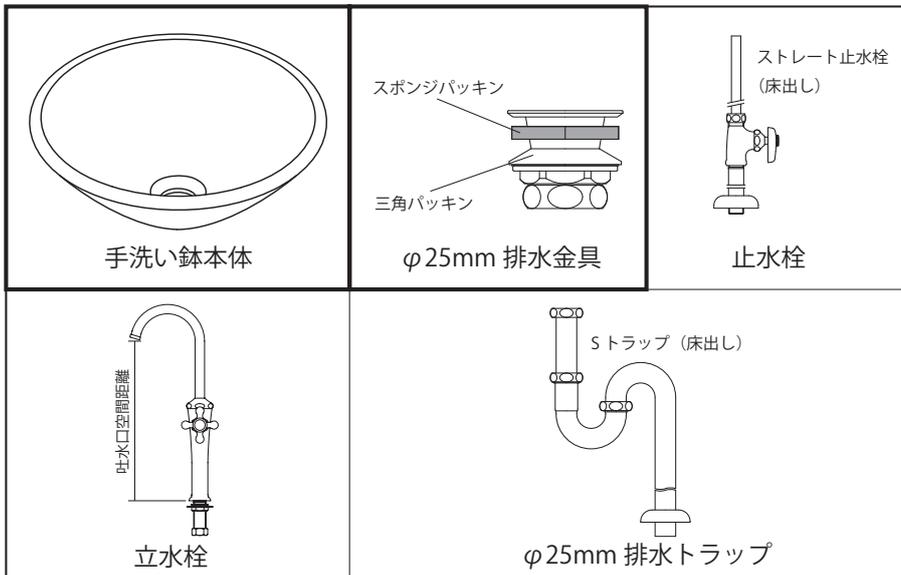
立水栓

施工要領

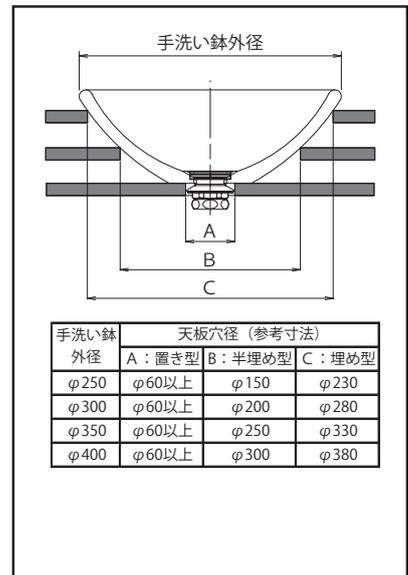
寸法図

[レトロ／ストラップ／ストラップ(ロングタイプ)]

各部の名称



参考寸法



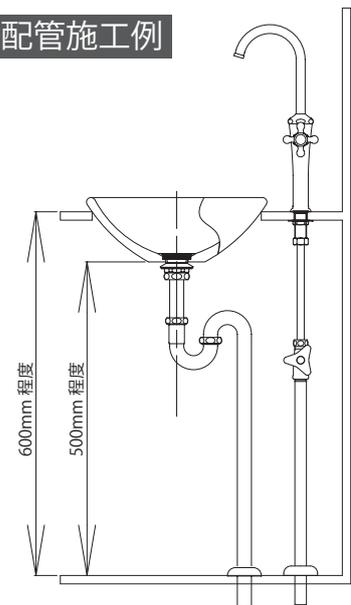
施工に関する安全上のご注意

- 手洗い鉢の取付工事は必ず専門の工事店に依頼してください。
- 手洗い鉢には様々な材質がありますが、壊れ物としてご認識ください。落としたりぶつけたりしますと、欠けたり割れたりするおそれがあります。
- 工具などの硬いものを手洗い鉢の上に落としたり、のせて引きずったりしないでください。

参考施工図

- 下図は参考図です。必ず天板開口前に水栓や手洗い鉢の位置のバランスを見て開口位置を決定してください。
- 天板と手洗い鉢のすき間に必ずコーキング処理をしてください。
- 施工後には必ず通水点検を行ってください。
- 必ずモンキーレンチ等の工具を用いて締付けてください。手締めをすると水漏れが発生するおそれがあります。

床出し配管施工例



※通水点検※

- 水栓を吐水させ、適切な吐水量であるか確認します。水はねが激しい場合は、止水栓を絞るか、手洗い鉢の位置を微調整してください。吐水量が排水能力を上回る（あふれる）場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- 通水、排水経路の接続部に水漏れが無いを確認します。
- 排水がスムーズに行われているか確認をします。

日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- ゴミ等により排水口が目詰まりすることがあります。その場合、排水口を掃除してください。
- 酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。

利休信楽水琴窟（屋内用）

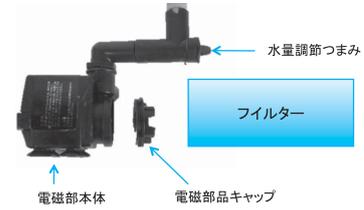
施工要領

【信楽焼・琴音ボール】

水量が少ない場合ポンプが機能出来ず水が回転しない時その時は蓋部上部からコップにて水を注いでポンプに力を与えてください

接続キャップとホースを取り付ける

注意
*ポンプ清掃時、電磁部品キャップを電磁部本体に取り付けてください。



モーターが隠れるほどの水量

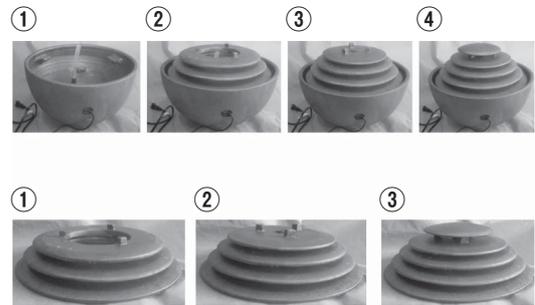
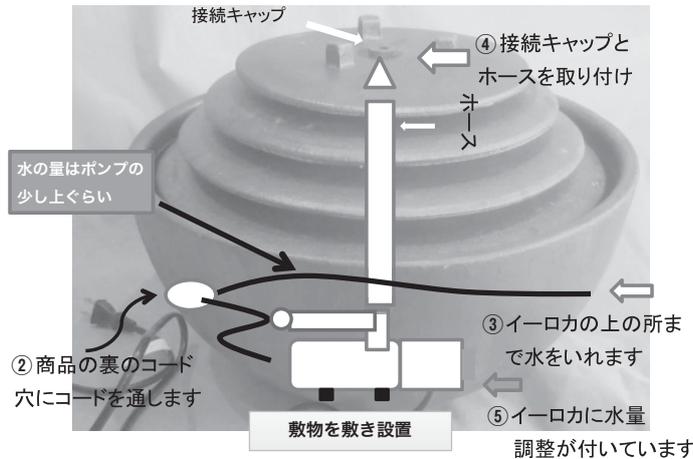
ポンプ設置位置

穴にコードを通す。

*ポンプコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
*応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)

先端のつまみを左右に回して水量調節を行うことができます。(右側=大、左側=小)

水琴窟本体の下に敷物を敷き設置



- ① 琴音ボール本体を設置する。
- ② 水中ポンプフィルター<イーロカ>を本体底部に置き、商品の裏の穴にコードを通します。
*ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません。
- ③ 琴音ボール本体に<イーロカ>上部が隠れる所まで水を入れて下さい。
- ④ 琴音ボールの蓋裏部に接続キャップとホースを取り付けて下さい。
- ⑤ 電源を入れて下さい。(水の勢いが強い場合は、<イーロカ>にて水量調整をして下さい)

<注意事項>

設置の際には以下の点にご注意下さい

- *セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。(感電の原因になります)
- * <イーロカポンプ> 電源部に水などがつかないようにして下さい。
- * 水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。
- * 設置の時、琴音ボール本体の下に敷物を敷き設置して下さい。
- * 直接設置すると床、畳などに傷、変色(拭きすすれ、日当たりによる色落ち)の原因になります。
- * 設置場所に似合うデザインの受け皿を設置することをお勧めいたします。(素材例、プラスチック、ガラス、石)
- * ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。
- * 応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)
- * 屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
- * ポンプは購入店から購入できます。
- * 不具合が生じた場合購入店にご相談下さい。

ガーデン

手洗い鉢

施工要領

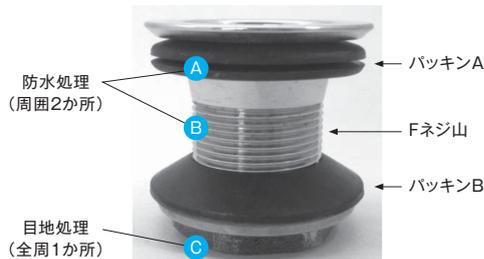
【手洗い鉢の施工要領】

■ 手洗い鉢、ボウル排水金具取り付け手順

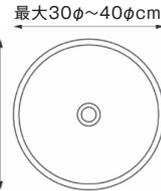
- 丸鉢排水栓、パイプ径25mm使用
- 手洗い鉢の排水金具は仮取り付けをした状態です。
- ①取り付ける手洗い鉢に排水金具を仮付けし、排水金具との相性を検証します。(出荷時に確認済みですが再確認。)
- ②排水金具を取り外しAとB2か所に防水処理材を塗布します。
*防水処理材例(TOTOなどPシール、市販のシリコンコーキング材)
- ③もう一度排水金具を取り付け、六角ナットをしっかりと本締めします。
*この場合事前にFのネジ山にシリコン材を塗布して防水処理を行って下さい。
- ④最後にCの箇所メジ処理を施し手締めで取り付けます。
*メジ処理材例(TOTOなどPシール、市販のシリコンコーキング材)

【補足事項】

- 上記方法を怠りますと水漏れする可能性が格段に上がります。
- ①相性の調整、「パッキンA」を切って調整するか、取り外してPシールやシリコンコーキング材などで防水処理を行って下さい。尚、「パッキンB」は絶対外さないで下さい。



*手洗い鉢と設置されたカウンターなどのD隙間に防水処理材にて防水処理をして下さい。水漏れする可能性があります。



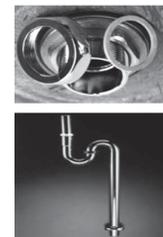
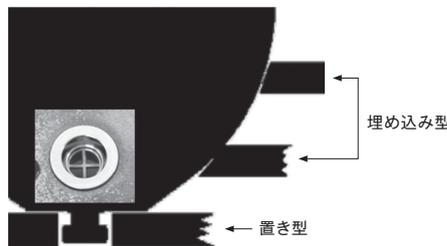
最大高さ
27φ~40φ
130~160mm



(株)三栄水栓製作所 推奨立水栓 【撮影使用Y50750H-2T-13】
K4750NV-2T-13 シングルワンホール洗面混合栓 K4750NK-2T-13 シングルワンホール洗面混合栓 寒冷地用
Y50750H-2T-13 立水栓 Y5075H-2T-13 立水栓 *止水栓との接続にT190-13X300ベンリーフレキを使用

手洗い鉢、置き型と埋め込み型図解

下記図解の様に、各高さにより洗面台やカウンターに設置施工して下さい。手洗い鉢現物の型紙を作成し、はめこみ施工して下さい。



●丸鉢排水栓、パイプ径25mm使用

(排水栓トラップ口径は25mm用をご使用下さい)

*取り付けに困られた場合、販売店にご相談下さい。

信楽焼照明 (あかり)

施工要領

■ 設置方法

- 1 A照明器具を設置
- 2 本体陶器カバーを照明器にかぶせて完成



■ 注意

設置の際には以下の点にご注意下さい。

- この器具は防雨型です。浴室、サウナ風呂、高湿多湿の場所では使用できません。
- この器具は直置き型です。不安定な場所には設置されないようにお願いいたします。
- 器具を改造したり、部品を追加、変更して使用しないで下さい。
- 器具、本体の隙間や放熱穴などに金属類を差し込まないで下さい、又ふさがないで下さい。
- 器具は高温のため触らないで下さい。
- 照明を布などで覆って使用しないで下さい。
- 表示された電圧以外で使用しないで下さい。
- 異常を感じた場合は早急に電源を切ってください。
- 温度の高くなる場所近くの取り付けはしないで下さい。

*セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行って下さい。(感電の原因になります)

*コードの引っ張りすぎに注意、転倒原因になります。

ソーラーライト

施工要領

【ソーラーライトの施工要領】



1 本体裏面矢印



2 墨出し



3 サンダー切込み



4 研り



5 副資材(参考)



6 設置



7 バックアップ材充填



8 シーリング



9 完了

■ ソーラーライトについてのご案内

- ※車乗り入れ不可となります。
- ※ソーラーライトは直射日光のあたる場所で使われることを想定しています。常時建物の影になる場所、ピロティ、建物内部などには適していません。設置場所は予め十分にご検討下さい。
- ※ソーラーライトは高耐荷重性能を有していますが、駐車場などへの設置により、タイヤの溝に挟まった石、ソーラーブリック直上でのハンドル操作、ブレーキ摩擦などにより、ソーラーライトの破損を生じる恐れがあります。
- ※ソーラーライトは周囲が夜間でも明るい場所(約200ルクス以上)では点灯しないことがあります。街灯、庭園灯、その他外部照明との位置関係を十分に配慮してご計画下さい。
- ※ソーラーライトを直接土間コン打設時に埋設しないで下さい。コンクリートの硬化時に変形圧力がかかり、破損の原因となります。オプションのステンレスケースを使用するか、必ず箱抜きをして、その空間部分に設置して下さい。
- ※ソーラーライトの周囲には必ず目地を設けて下さい。隣接する素材の膨張収縮率の違いから、夏季、冬季の伸び縮みにより、床仕上げ材へのクラック発生、あるいはソーラーライトの破損の恐れがあります。ステンレスケースの使用が便利です。
- ※水盤内の設置は、水深10cm程度までとして下さい。また、透明度の低い池や海水には適していません。製品の不具合が生じた場合などに、水盤内の水は排水できる構造とし、かつ、容易に取り外しが出来るシール止めとして下さい。
- ※夕刻の点灯時、朝方の消灯時において、一定時間点滅を繰り返すことがあります。これは周囲の明るさを検知して作動する商品の特性上、切り替え時(約200ルクス)に起こり得る現象ですが、故障ではありません。
- ※工場出荷時は充電が空の状態です。設置直後は点灯が安定しません。満充電には晴天で3日ほどかかります。
- ※高輝度LEDは製造時に選定作業をしておりますが、個別に微妙な色調のバラツキが生じる恐れがあります。LEDの特性としてご理解下さい。
- ※ソーラーライトは1つひとつが独立しており、個体差があります。複数個を同じ場所に設置した場合でも、点灯・消灯は完全には同期化しませんので、予めご了承下さい。
- ※365日点灯保証されるものではありません。冬季の日射不足や悪天候が続くなど、十分な日射が得られず、充電が切れた場合には夜間でも点灯しません。晴天時に再度充電されることで点灯するようになります。一度充電が切れた場合、満充電になるには晴天で3日ほどかかります。
- ※設置後は、一般的な清掃等以外、特別なメンテナンス作業などは発生しません。透明養生フィルムは設置後、必ず剥がしてご利用下さい。
- ※立面に設置する場合、本体裏面の矢印が必ず上を向く方向で設置してください。矢印が上向きでない場合、正しく内部のバッテリーが作動しません。

メタルライト／ルートウ・ピエニ

【メタルライトの寸法図/施工要領】

モンステラの灯り

【施工要領】

<p>コンクリートの場合</p> <p>下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください</p>	<p>木質系の場合</p> <p>タッピングネジでそのまましてください</p>
--	---

アンティーク門灯

【施工要領】

<p>コンクリートの場合</p> <p>下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください</p>	<p>木質系の場合</p> <p>タッピングネジでそのまましてください</p>
--	---

【側面図】

かわいいジャム瓶の灯り

【施工要領】

<p>コンクリートの場合</p> <p>下穴 6 mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください</p>	<p>木質系の場合</p> <p>タッピングネジでそのまましてください</p>
---	---

【側面図】

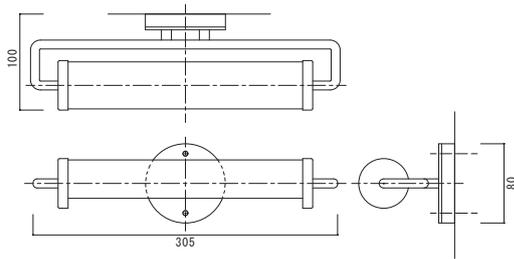
ねこの灯り

【施工要領】

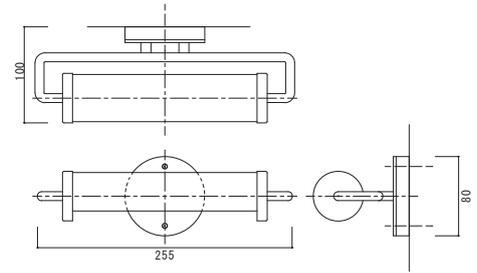
<p>コンクリートの場合</p> <p>下穴 6mmをあけてカールプラグを差込み タッピングネジをしめてください</p>	<p>木質系の場合</p> <p>タッピングネジでそのまましてください</p>
--	---

【側面図】

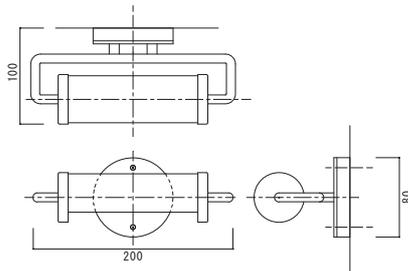
マローネ・ライト L



マローネ・ライト M
ピアンカ・ライト M



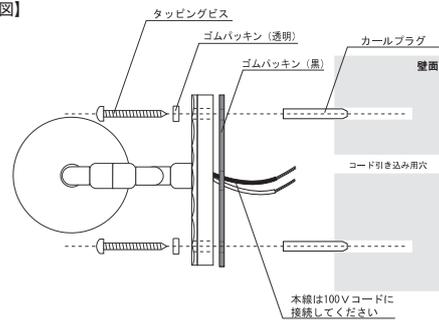
マローネ・ライト S



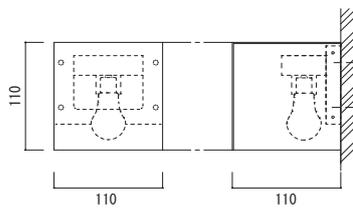
【施工要領】

- コンクリートの場合
下穴 6mm をあけてカールプラグを差込み
タッピングネジをしめてください
- 木質系の場合
タッピングネジでそのまましてください

【側面図】

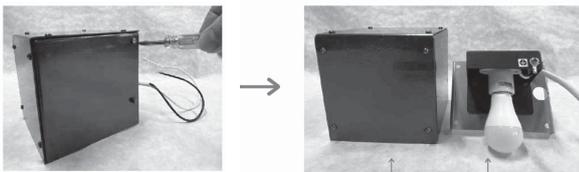


【ルートゥ・ピエニの寸法図/施工要領】



【施工要領】

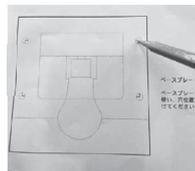
- 1 準備** 両サイドの真鍮のネジを外します。



※外したネジは本体とベースプレートの固定のため使用します。紛失することがないよう、ご注意ください。

2 取付位置の確認

ケガキシートを使い取付位置の確認、ベースプレートの穴位置のアタリを付けてください。



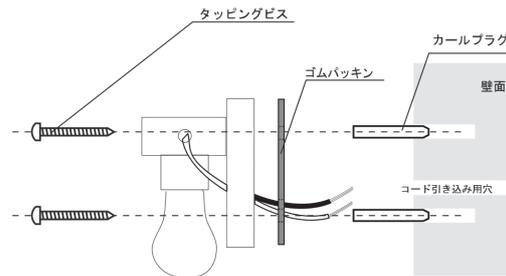
3 配線

壁面に埋設された配線コードと照明コードを結線しテープで防水、絶縁して下さい。
※配線とベースプレート取付の際には安全のため電球を外して作業することをお勧めします。

4 ベースプレートの取付

ベースプレートを図のようにゴムパッキンを挟み4ヶ所にタッピングビスを使用して壁面に固定します。

- ・壁面がコンクリートの場合、下穴 6mm を開けカールプラグを差し込みます。タッピングビスで固定。
- ・壁面が木質の場合はカールプラグは使用せず、タッピングビスのみで固定して下さい。



5 本体の取付け

ベースプレートの固定が終了しましたら、本体をベースプレートに被せ、最初に外した真鍮のネジで固定してください。

【メタルライト/ルートゥ・ピエニ 取扱説明】

【取付について】

電線の導入口や壁面などの貫通部はコーキング材などで防水処理を施工して下さい。(電線を伝わっての水の侵入の原因になります。)

安全確保のため電源ブレーカー及びスイッチは遮断を確認してから施工して下さい。(感電の原因になります。)

接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因になります。
【適合電力 (W)】 最大 60W 白熱電球

※配線は、電気工事店様により接続をお願いいたします。

【お手入れについて】

ランプの交換は、必ず電源を切って下さい。感電の原因になります。

点灯中、消灯直後に器具に触れないで下さい。
消灯後 20 分程経過後にランプ交換等をして下さい。
(やけどの原因になります。)

メタルライト アンティーク門灯は完全密閉型器具のため、ガラス内部が結露等で曇ることがあります。
ランプ交換と同じ要領で定期的にガラスの内側も拭いていただきますようお願いいたします。

フックライト

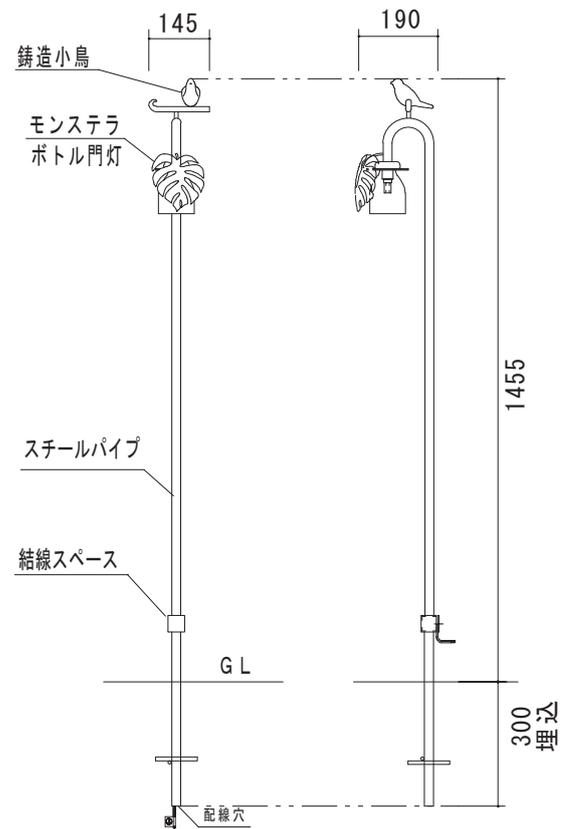
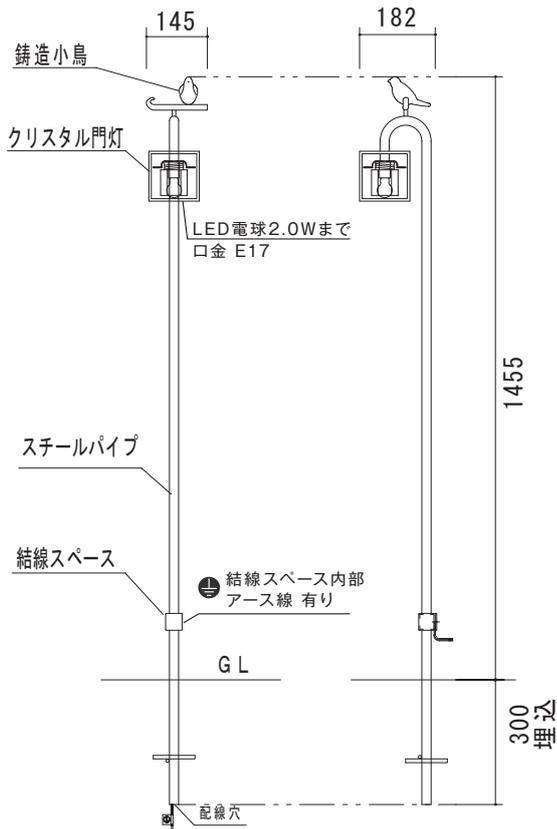
施工要領

寸法図

【フックライトの寸法図】

スタンド式ジャム瓶の灯り
小鳥付き

スタンド式 モンステラの灯り
小鳥付き



【フックライト施工要領】

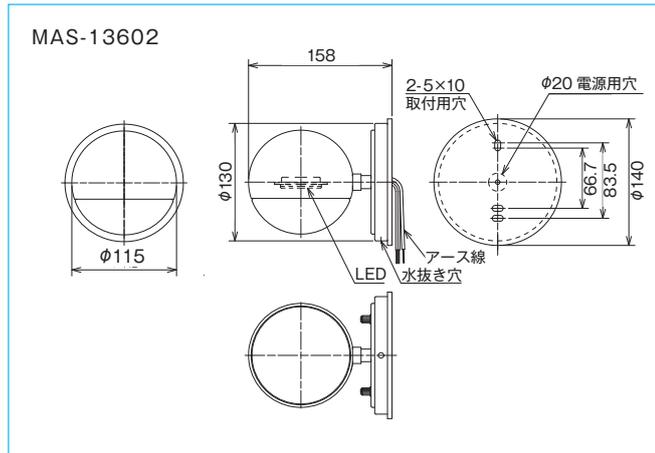
- 配線は結線スペースで、電気工事店様にて接続をお願いします。
- 電球交換は、必ず電源を切って下さい。(感電の原因になります。)
- 点灯中、消灯直後は器具に触れないでください。消灯後、冷えたのを確認してから電球交換等を行って下さい。(やけどの原因になります。)
- 設置は埋込部分にコンクリートを打設して固定して下さい。
- 安全確保のため、電源ブレーカー及びスイッチの遮断を確認してから施工をして下さい。(感電の原因になります。)
- 本製品は焼付塗装を行っておりますが、経年と共に錆が発生しますので、市販の屋外鉄部用塗料でのメンテナンスをお勧めいたします。

MARU (マル) / SANKAKU (サンカク) MARITIME (マリタイム)

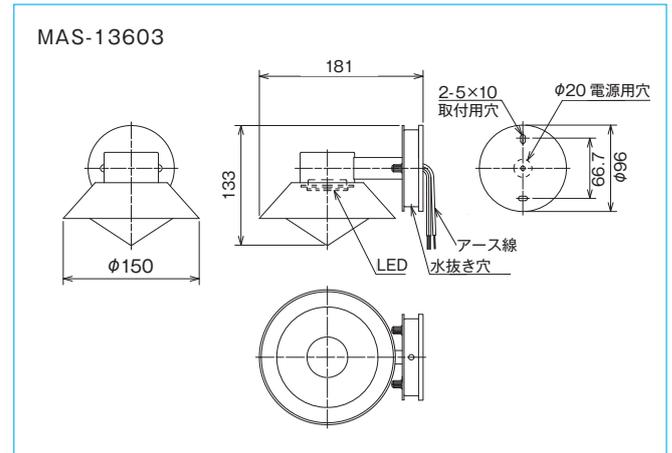
施工要領

寸法図

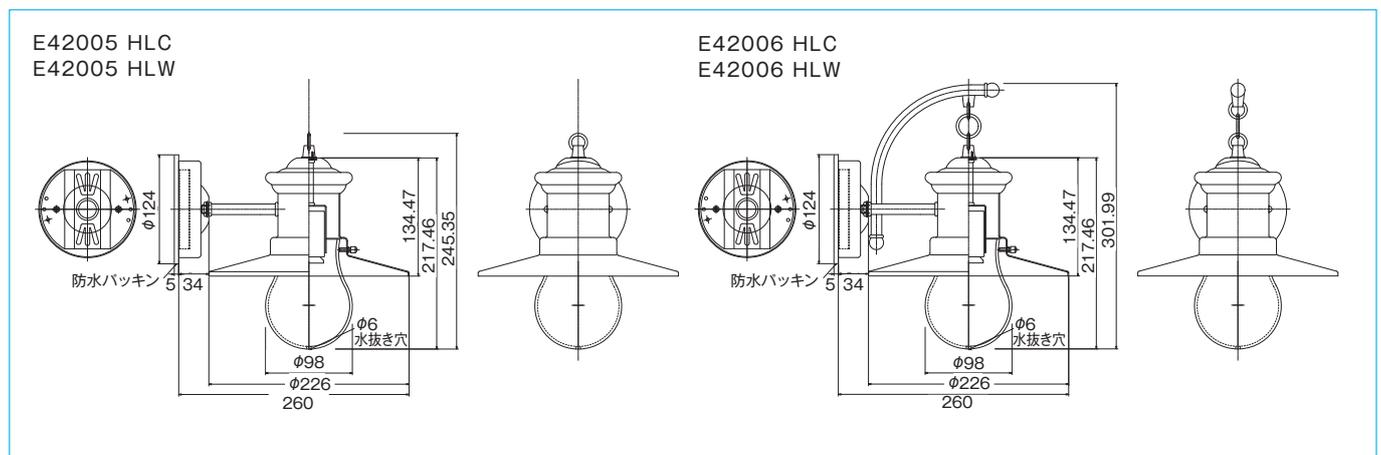
【MARU (マル) の寸法図】



【SANKAKU (サンカク) の寸法図】

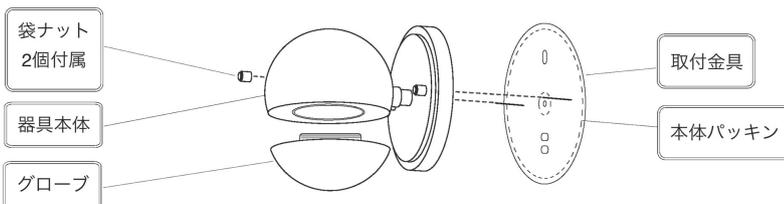


【MARITIME (マリタイム) の寸法図】



【MARU (マル) / SANKAKU (サンカク) / MARITIME (マリタイム) の施工要領】

【MARU (マル) / SANKAKU (サンカク)】



1. 取付け前の確認

- 器具重量 (カタログ記載値) に十分耐えるよう、取付部の強度を確保して下さい。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 本体パッキンを取付ける

- 取付面をシール剤等で凸凹のないようフラットに仕上げ、切り欠きが下方向になるよう本体パッキンを取付けて、取付面と本体パッキンから水が入らないよう防水処理して下さい。
不備がありますと火災・感電の原因となります。

3. 取付金具を取付ける

- 本体パッキンの溝に取付金具をはめ込み、取付金具から突き出している2本のネジが水平になるよう角度を調整して取付金具を固定します。
不備がありますと火災・感電・器具落下の原因となります。

4. 口出線を電源線に接続する

- 口出線との接続は確実に、防水テープ等でジョイント部を保護して下さい。アース線を利用してD類(第3種)接地工事を行って下さい。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

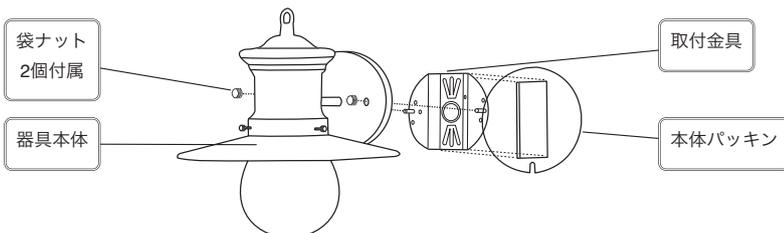
5. 器具本体を取付ける

- 器具本体に取付金具のネジ(2本)を通し、袋ナット(2個)で確実に固定します。
取付けが不完全な場合、浸水による感電・器具落下の原因となります。

6. グローブを器具本体に取付ける (MARU(マル)/SANKAKU(サンカク))

- 器具本体にねじ込んで確実に固定します。グローブ部はガラス製ですので落下や堅いものとの接触による破損に十分ご注意ください。

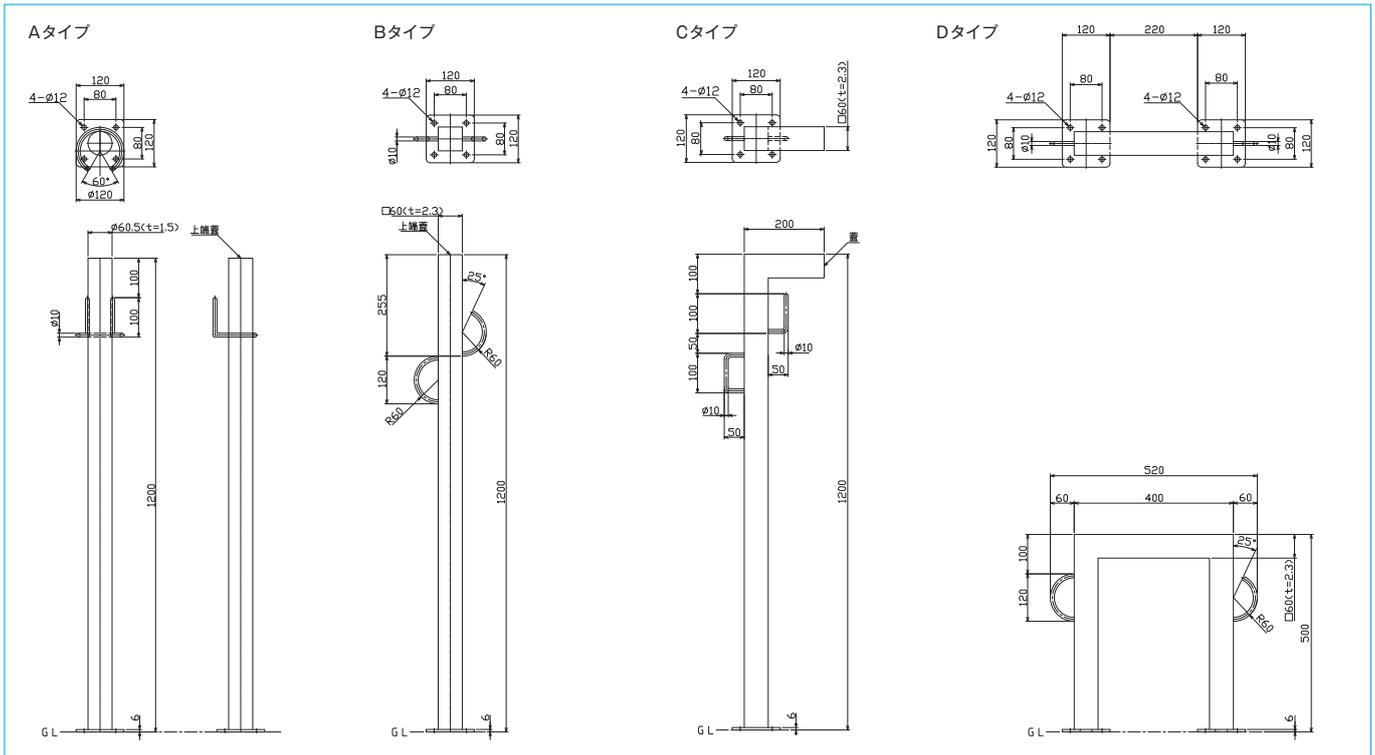
【MARITIME (マリタイム)】



ガーデン

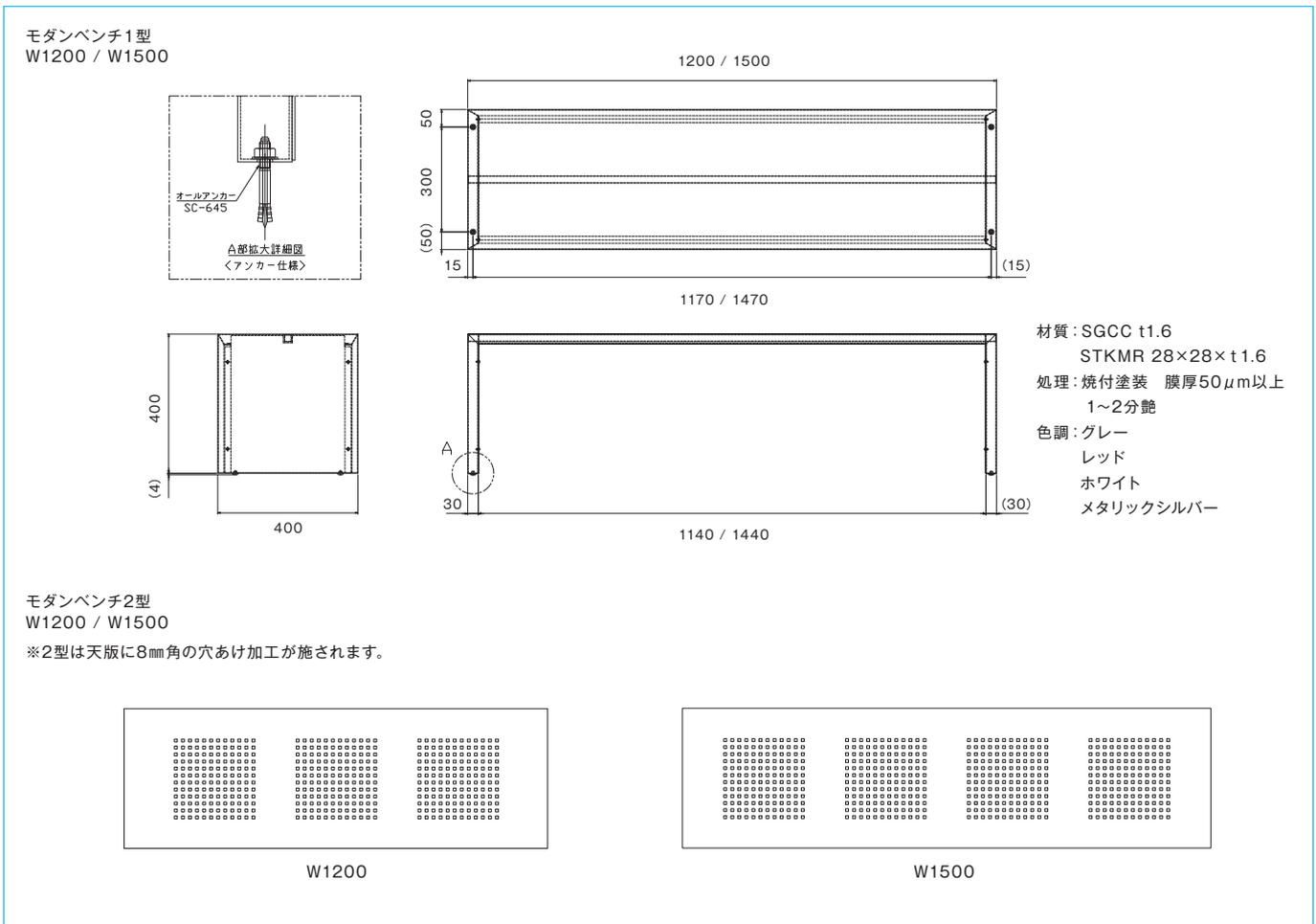
ドッグポール

寸法図



モダンベンチ

寸法図



ガーデン

グリーンパネル／ステナ

施工要領

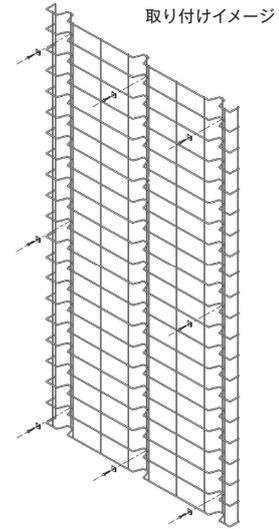
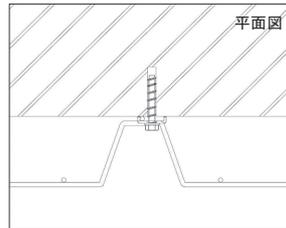
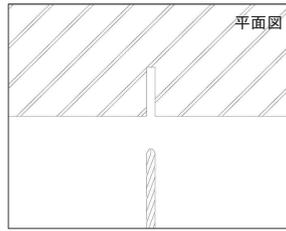
施工断面図

寸法図

【グリーンパネルの施工要領】

① 取り付け位置の確認、下穴開け加工

※グリーンパネルの取り付け位置を決めます。必要に応じて印をつけます。
 ※RC塀やALC壁、コンクリートブロック塀に深さ30～35mmの下穴開け加工を行います。下穴開けに使用するドリルは直径6mmを推奨します。

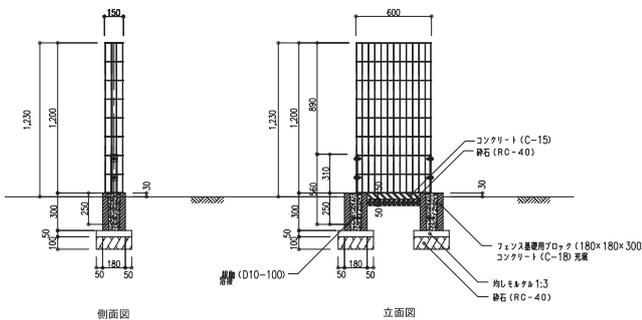
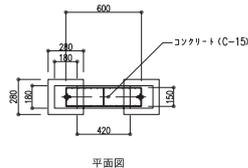


② 固定部材による取り付け

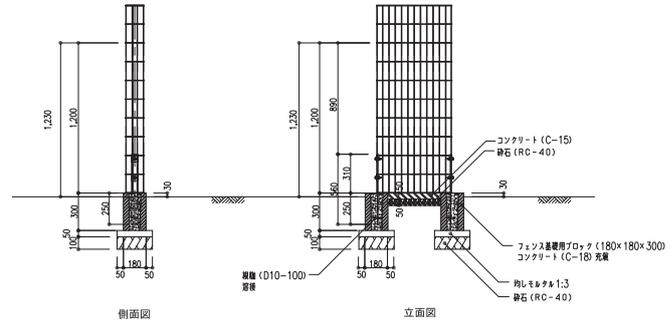
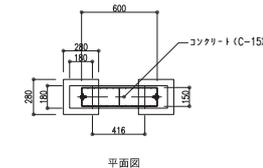
※固定金具とハイタップアンカーを使い固定します。
 ソケットのサイズは8mmを使用します。

【ステナフラットバー緑化用の施工断面図】

FB支柱タイプ 砕石なし
 H=1200
 ブロック基礎



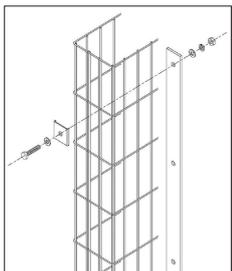
FB支柱タイプ 砕石なし
 H=1500
 ブロック基礎



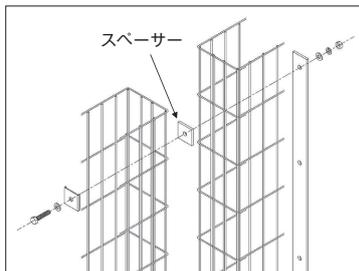
【ステナの施工要領】

ステナ本体とステナフラットバー・Lアングルの組み立て

※H1200タイプ・H1500タイプ共に埋め込み部250mmが下から出る位置でフラットバーを固定します。H1800タイプも同様にLアングルを固定します。フラットバー・Lアングルと座金でメッシュフレームを挟み込む様に組み立てます。
 ※連結設置中間部は隣接するメッシュの食い込みを防ぐため、スペーサーをメッシュフレームの間に使用します。
 ※石材を投入せず緑化フェンスとしてご使用する際は、H1200タイプ・H1500タイプ・H1800タイプ共に緑化用フラットバーをご使用下さい。



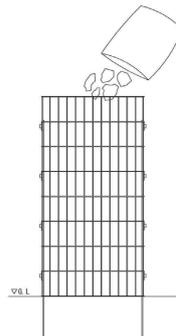
単独設置、連結設置 端部の場合



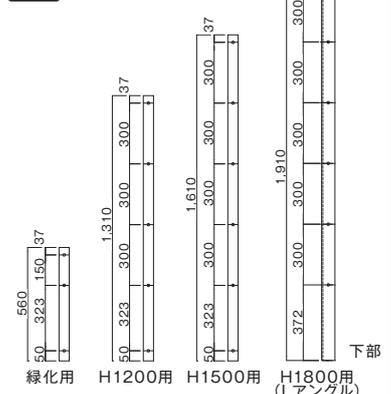
連結設置 中間部の場合

本体の取り付けと石材の投入

※フラットバーの埋め込み部を基礎へ固定します。養生したのち石材を投入し完成となります。



注意

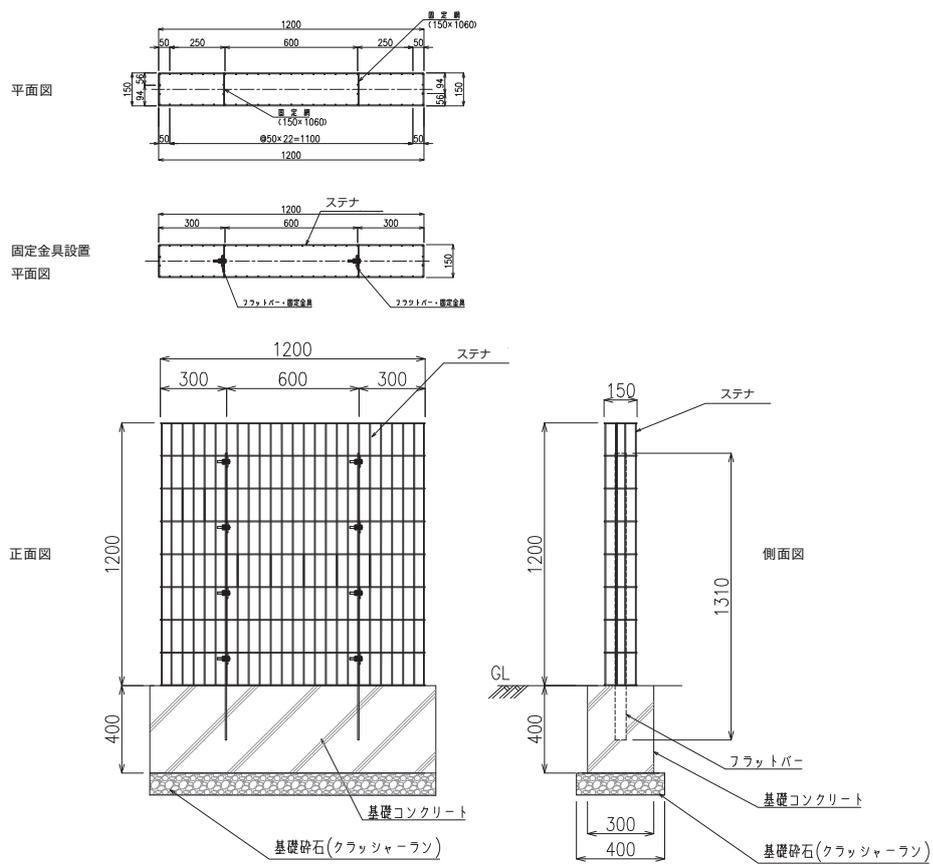


フラットバー・Lアングルは上下があり、端の穴位置が上下で異なります。組み立ての際はご注意ください。

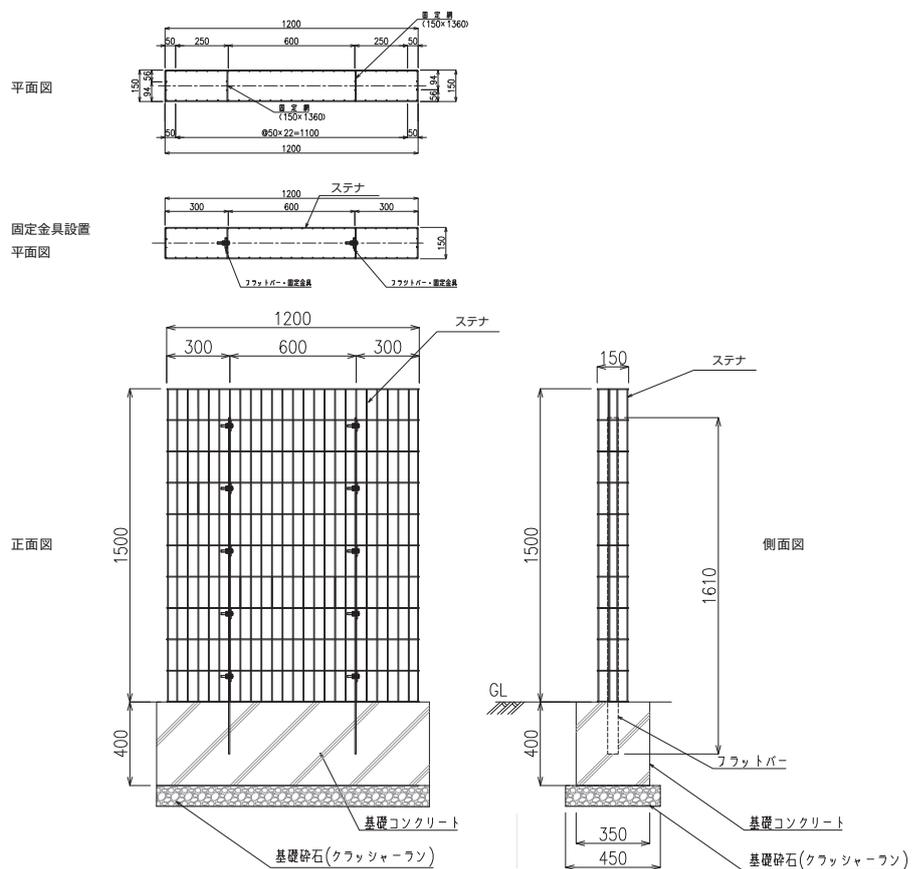
ステナ

【ステナの施工断面図】

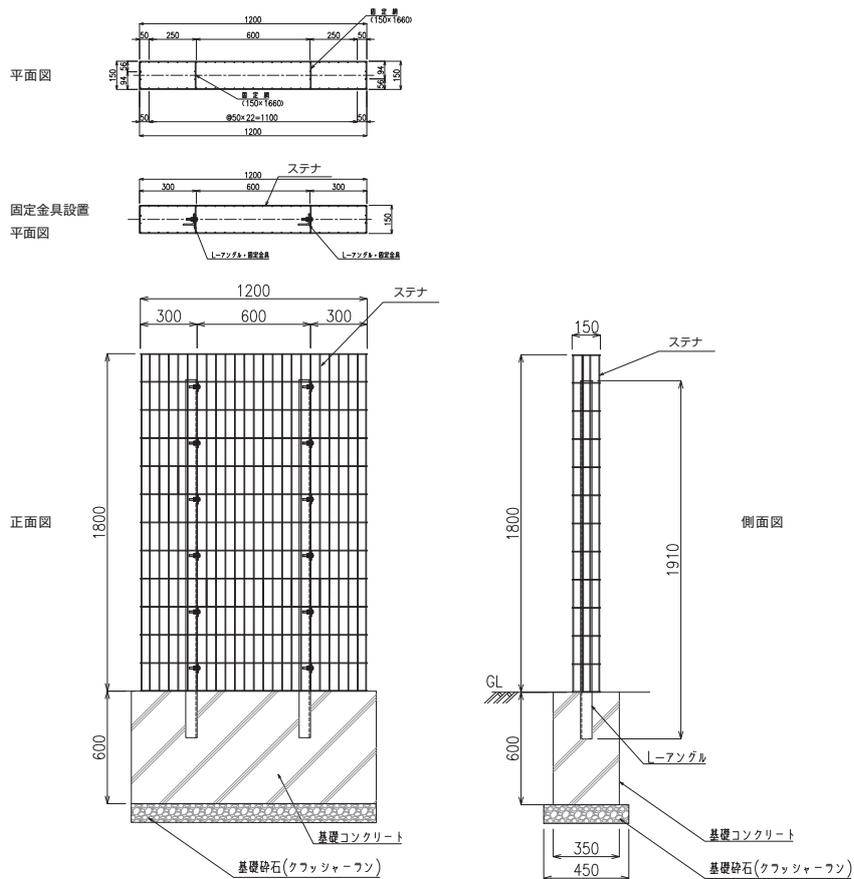
H=1200タイプ
フラットバー仕様



H=1500タイプ
フラットバー仕様

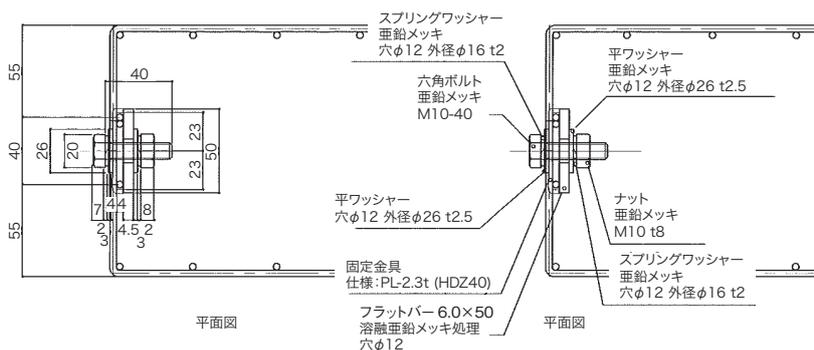


H=1800タイプ
Lアングル仕様

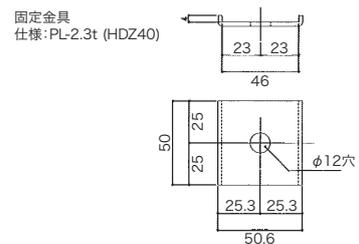
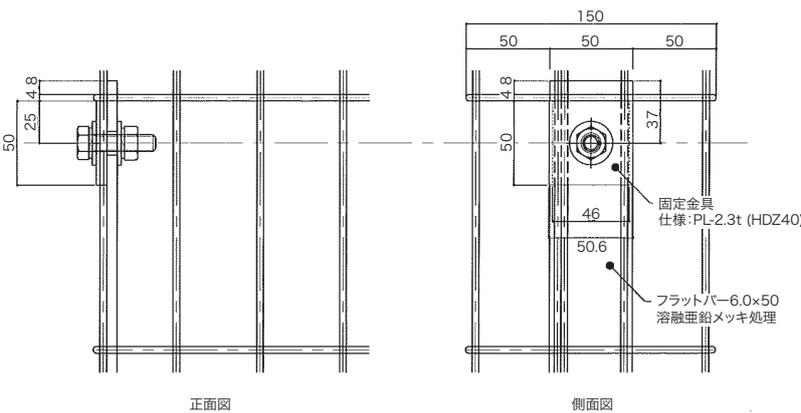
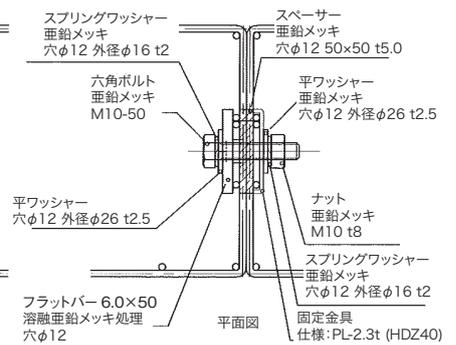


フラットバー仕様
端部・連結部

端部詳細図



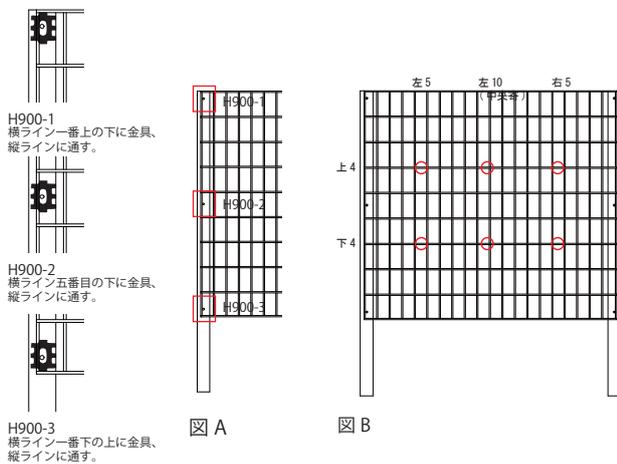
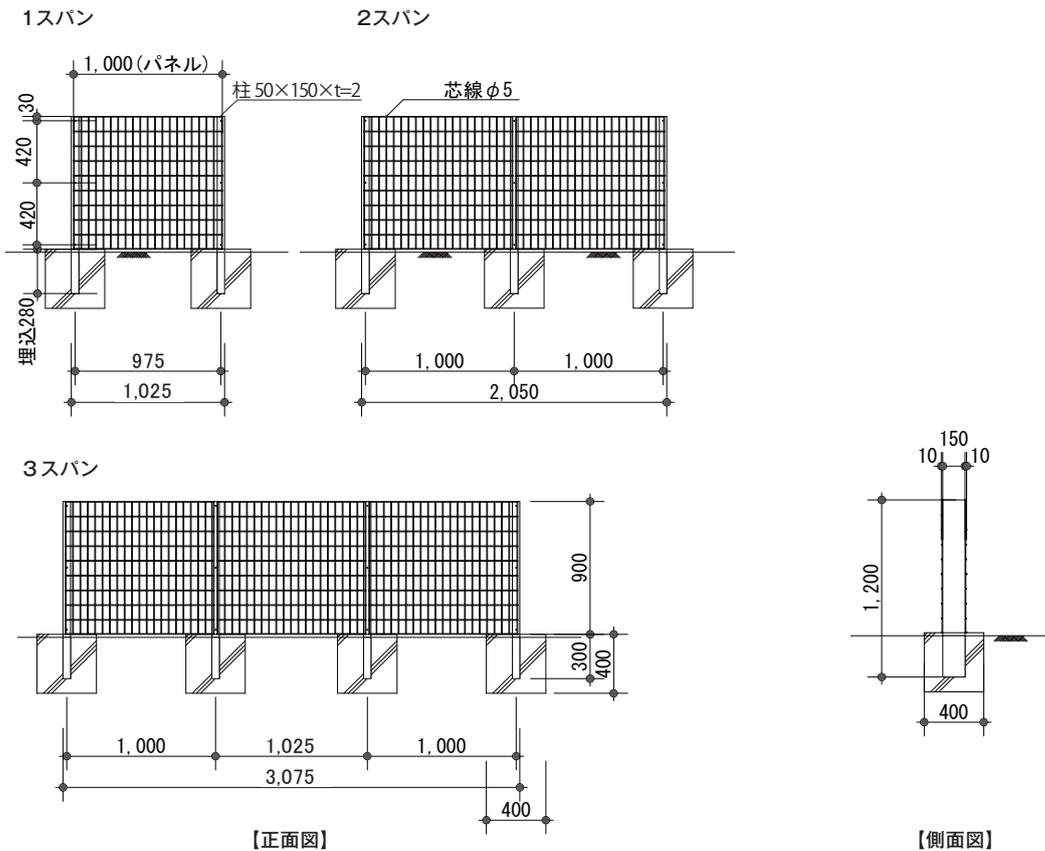
連結部詳細図



ガーデン

ガビネオ

【H900タイプ】



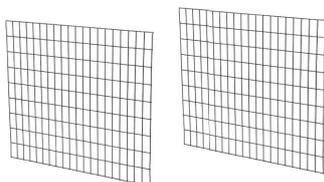
ガビネオ(H900タイプ) 施工要領

- ① 柱を埋込280mm立面図の柱位置を参照に固定します。
- ② 柱に溶接されているボルトをいったん外します。(6本/柱)
- ③ 柱→パネル(横格子が外側)→ボルト止め金具→ボルトの順で柱にパネルを両面固定します。(固定位置は図A 参照)
- ④ 石を1/3 程充填します。
- ⑤ たわみ防止のテンショナーを引っ掛けセットします。(図B 参照)
- ⑥ 石を2/3程充填し、テンショナーをセットし、残りの石を充填します。
- ⑦ オプションの笠木を天端止め金具で固定します。

■ セット内容

セット ()はH1500タイプの数量

パネル:2枚



柱:2本



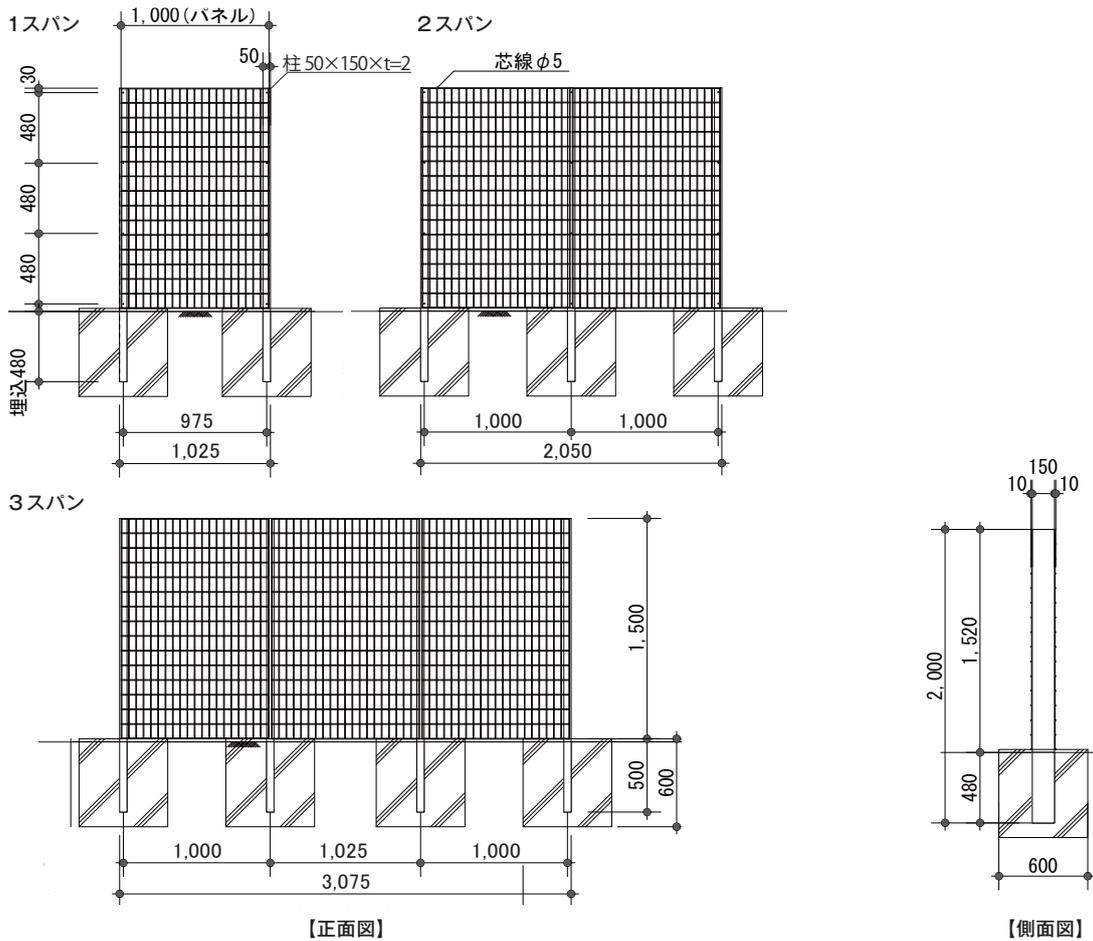
テンショナー:6本(12本)
(たわみ防止金具)



取付金具:12枚(16枚)



[H1500タイプ]



【正面図】

【側面図】

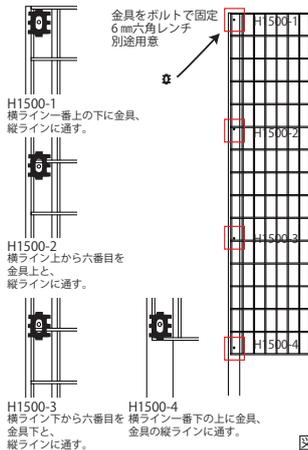


図 A

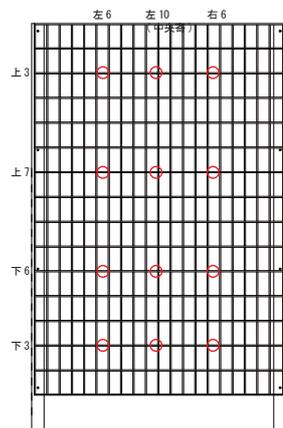


図 B

ガビネオ(H1500タイプ) 施工要領

- ① 柱を埋込480mm立面図の柱位置を参照に固定します。
- ② 柱に溶接されているボルトをいったん外します。(8本/柱)
- ③ 柱→パネル(横格子が外側)→ボルト止め金具→ボルトの順で柱にパネルを両面固定します。(固定位置は図A 参照)
- ④ 石を1/3 程充填します。
- ⑤ たわみ防止のテンショナーを引っ掛けセットします。(図B 参照)
- ⑥ 石を2/3程充填し、テンショナーをセットし、残りの石を充填します。
- ⑦ オプションの笠木を天端止め金具で固定します。

■ 単体柱1本セット内容

柱 ()はH1500タイプの数量

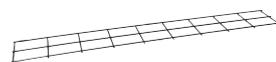
取付金具:6枚(8枚)



■ オプション

天端パネル

天端パネル:1枚



取付金具:6セット



タッチアップペン

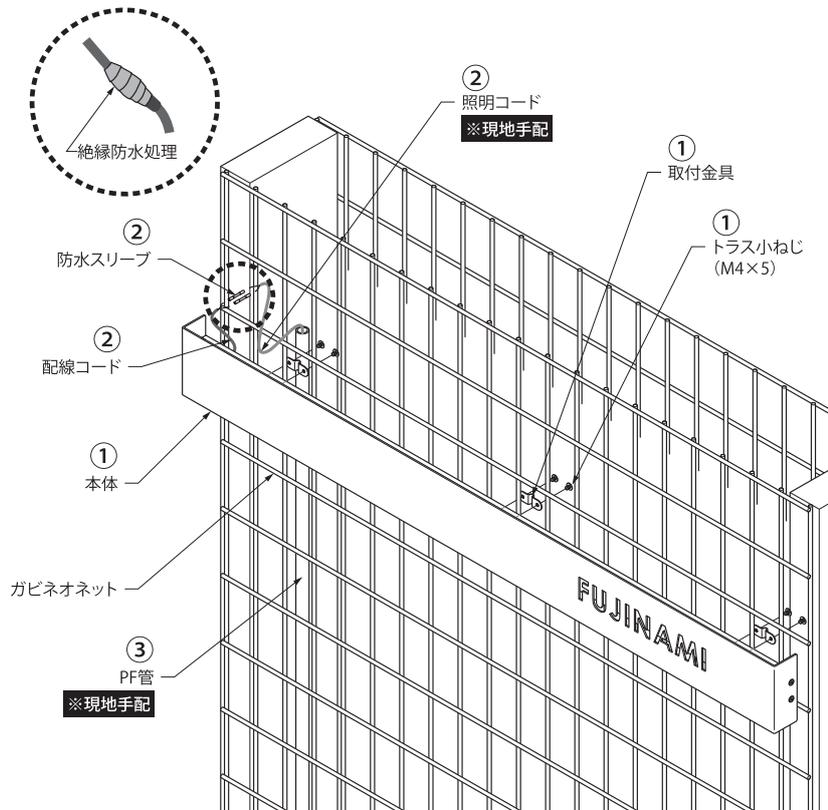
容量:30ml



ガビネオ LED

■施工手順

- ①照明本体を取付金具3個とトラス小ねじ(M4×5)6本でガビネオネットに取り付けてください。
- ②本体の配線コードと照明コード(※現地手配)を防水スリーブにて結線し、自己融着テープ等で防水・絶縁してください。
- ③②の結線部をPF管(※現地手配)に通して防水処理をしてください。



●同梱セット

No.	同梱部品	数量	単位
1	本体	1	セット
2	取付金具	3	個
3	トラス小ねじ(M4×5)	6	本
4	防水スリーブ	2	個
5	自己融着テープ	1	枚
6	六角レンチ(呼び2)	1	本

⚠️ ご注意

- 電気配線は電気工事店にご依頼ください。

⊘ 禁止

ほたるスイッチと組み合わせて使用しない

LED照明(100V)にほたるスイッチを接続すると、ほたる点灯時に流れる微小電流により、LED照明(100V)がぼんやり点灯、点滅するおそれがありますので、ほたるスイッチと組み合わせて使用しないでください。

ハイラバーウッドトップ

施工要領

寸法図

■施工手順 ※下記商品のセット画像はイメージの為、実際の製作図と多少の誤差がありますのでご了承ください。

①ハイラバーウッドトップは穴加工済みで、座板材、根太材と組み合わせた状態で納品されます。

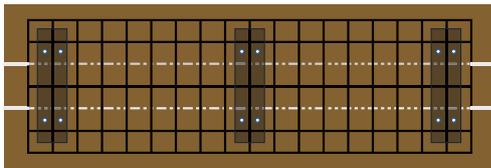
②ハイラバーウッドトップの裏面の根太材と固定用ビス(12本)を取り外してください。



梱包内容

座面板座	1
根太材	3
固定ビス	12本(SUSビス 5.1×3.8)

③ガビオーネCタイプの上面になるメッシュパネルをハイラバーウッドトップ座面板座の裏に左右の間隔を均等になるようにセットします。



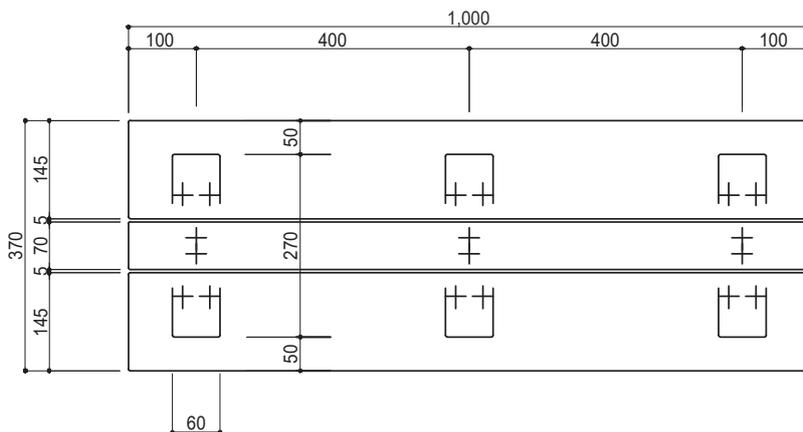
⑤ガビオーネ本体に石などの内容物の充填が終わったら、セットしたハイラバーウッドトップをかぶせ、スパイラルバーで連結して完成です。



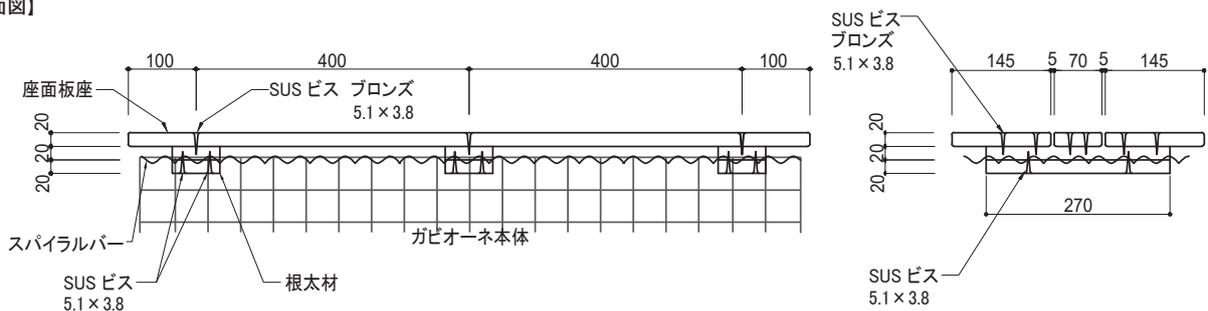
④根太材を元の位置に戻して固定ビスでとめて下さい。



【平面図】



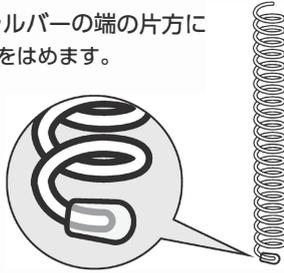
【立面図】



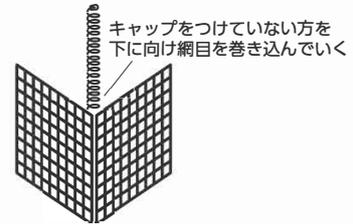
ガビオーネ／ライトガビ

【組み立て方】 底面にパネルを使用して施工する場合
※イラストは「ガビオーネ」のイメージです。

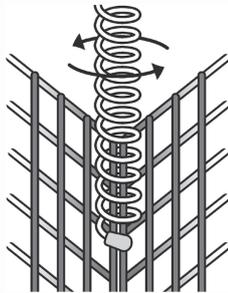
- ① スパイラルバーの端の片方に
キャップをはめます。



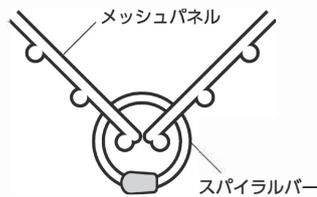
- ② 側面になるメッシュパネル2枚の端を合わせ、
立ち上げて持ちます。



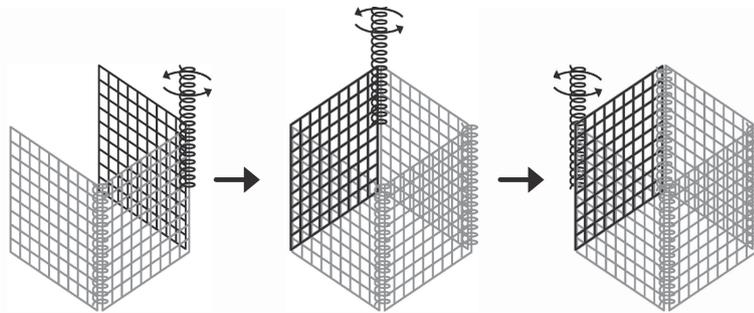
- ③ 合わさる辺のメッシュパネルの上にスパイラルバーを立てて持ち
スパイラルバーを回転させながら、パネル2枚の網目を巻き込み進めます。
最後まで巻き込み作業が終わったらスパイラルバーの先にキャップを被せておきます。



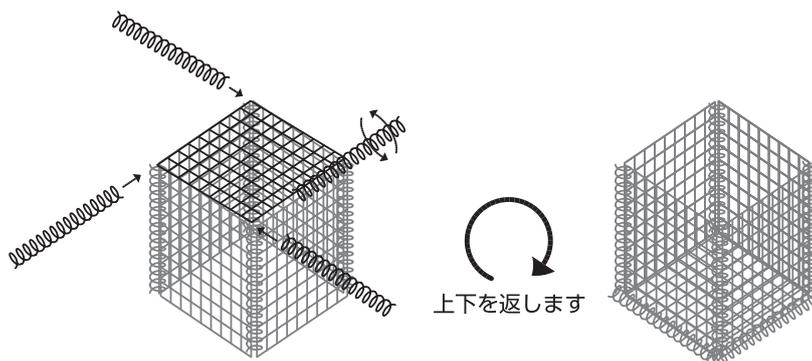
仕上がりを上から見た図



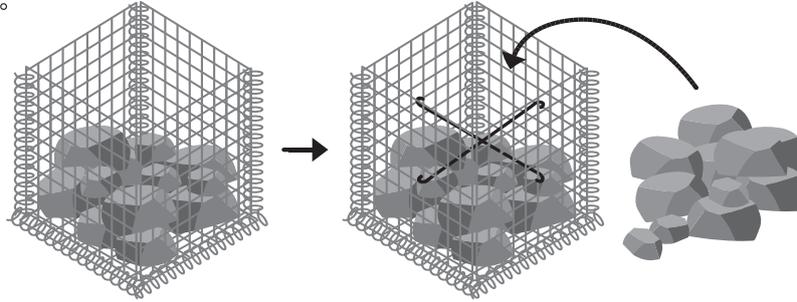
- ④ ③の要領で側面のメッシュパネル4枚をスパイラルバーで連結します。
底面のメッシュパネルを使わない場合は設置場所に置いて⑥の充填作業へ。



- ⑤ 底になるメッシュパネルを④の上に置き、側面パネルと合わさる4辺すべてを
スパイラルバーで連結して、ひっくり返して設置場所に置きます。

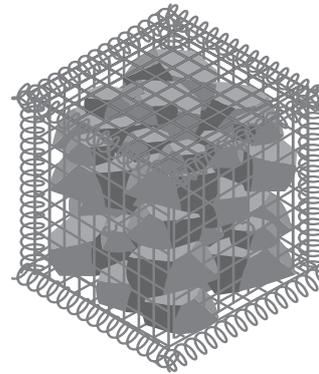


- ⑥ 石などの内容物を半分ほど充填します。
たわみ防止のためのテンショナーを向き合う面の網目に引っ掛けセットします。
残りの充填を行います。



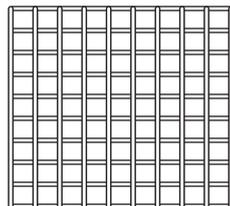
※内容物の最小サイズは直径50mm以上必要です
※テンショナーの長さは、ペンチ等で引っ掛けの曲げ位置を調整してお使いください。

- ⑦ 充填が終わったら上面になるメッシュパネルをかぶせ、
側面メッシュパネルとの4辺を
スパイラルバーで連結して完成です。



パッケージ内容と名称

メッシュパネル
サイズは下記の表をお確かめください



×6枚

スパイラルバー
(接続金具)



×12本

テンショナー (たわみ防止金具)



×2~8本

本数はサイズごとに違います
下記の表でお確かめください

スパイラルバーキャップ



×24個+予備

サイズ表

製品サイズ (仕上がるサイズ) どの方向でも使えます	テンショナーの長さ別本数				テンショナー 合計本数
	300mm	450mm	900mm	1200mm	
450×450×450mm	—	2本	—	—	2本
900×450×300mm	2本	2本	2本	—	6本
900×450×450mm	—	2本	2本	—	4本
1200×300×900mm	4本	—	2本	2本	8本

製品仕様

	ガビオーネ	ライトガビ
材質	スチール 5mm径	スチール 4mm径
	300g/m ² ドブ漬亜鉛メッキ	50g/m ² ドブ漬亜鉛メッキ
組立	パネル式+スパイラルバー	
メッシュサイズ	50mm×50mm	40mm×90mm



◎スパイラルバーの先端が尖っていますので、保護具(軍手など)着用のうえ作業を進めてください。
◎組み立て作業は二人以上が効率よく安全です。

《設置場所について》

倒れやすい傾斜地や軟弱で不安定な場所は避け、設置場所は施工前に、サイズにあわせて平らに均し、必要であれば基礎を打ち、アンカーを使用するなど、ガビオーネ/ライトガビが倒れないように施工してください。石など充填後にガビオーネ/ライトガビの移動はできません。お気をつけください。